



令和 7 年度 上水道事業 上久米廻渕線老朽配水管布設替工事

金抜設計書

工 事 番 号 2025073100

工 事 名 令和 7 年度 上水道事業 上久米廻渕線老朽配水管布設替工事

施 工 場 所 加東市上久米地内ほか

兵庫県 加東市

[illegible]

総括情報表

単価適用年月日	0-07.06.01(0)		
	今回	前回	
工種区分 施工地域区分 工事価格丸め 前払区分 契約保証補正	01 開削工事及び小口推進工事 26 補正無し 01 万円丸め 02 補正なし 1.00 01 金銭的保証		

工 事 費 内 訳 書

頁0-0002/0073

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							
管路							
開削工							
管路土工（配水管 φ 50）							
	舗装版切断（アスファルト舗装版） As舗装版厚→15cm以下						
		1,170	m				施工 第0-0001号内訳表
	舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下 ；バックホウ山積0.28m3						
		352	m2				施工 第0-0002号内訳表
	As殻運搬・処分 アスファルト殻 ダンプトラック(4t積)						
		18	m3				施工 第0-0004号内訳表
	掘削積込工 ；バックホウ 山積0.28m3（平積0.2m3）						
		350	m3				施工 第0-0008号内訳表
	人力掘削工 土砂 現場制約あり						
		1	m3				施工 第0-0009号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0003/0073

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻工（埋戻し材→再生切込碎石）						
；バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	260	m3				施工 第0-0010号内訳表
埋戻工（埋戻し材→スクリーンクォース）						
；バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	47	m3				施工 第0-0012号内訳表
土砂運搬・処分						
土砂						
ダンプトラック(4t積)	350	m3				施工 第0-0013号内訳表
路盤工(粒調碎石)						
上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚15cm	352	m2				施工 第0-0016号内訳表
アスファルト舗装工（人力）						
密粒度アスコン[再] (13) t=50mm						
砂散布なし	352	m2				施工 第0-0018号内訳表
土留工（φ50）						
土留材質料						
水圧ポンプ含む	1	式				
軽量鋼矢板工（両側分）（たて込み・引抜き）						
掘削深2.0m以下	2	m				施工 第0-0021号内訳表
支保工（軽量金属） 設置・撤去						
段数1段 掘削深2.0m以下	2	m				施工 第0-0024号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0004/0073

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
管布設工（配水管φ50）						
配水管φ50 管材費						
	1		式			代価 第0001号内訳表
配水管φ50その他材料費						
	1		式			代価 第0002号内訳表
ポリエチレン管(融着接合) 据付 呼び径 50mm						
	309.9		m			施工 第0-0025号内訳表
ポリエチレン管(新設管)切断工 呼び径50mm						
	11		口			施工 第0-0026号内訳表
ポリエチレン管(融着接合)継手工 呼び径 50mm, 1口継手						
	81		箇所			施工 第0-0027号内訳表
ポリエチレン管(融着接合)継手工 呼び径 50mm, 2口継手						
	3		箇所			施工 第0-0028号内訳表
ポリエチレン管(メカニカル継手)継手工 呼び径 50mm						
	1		口			施工 第0-0029号内訳表
ポリエチレン管継手工 呼び径 30mm						
	1		口			施工 第0-0030号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0005/0073

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
メカニカル継手 接合(呼び径 150mm) 継手：K形 特殊押輪補正あり						
	1		口			施工 第0-0031号内訳表
鋳鉄製仕切弁(機械力)設置 縦型仕切弁 呼び径 100mm以下						
	2		基			施工 第0-0032号内訳表
不断水連絡工(φ150mm×φ50mm)						
	1		箇所			施工 第0-0034号内訳表
不断水仕切弁設置工 鋳鉄製 呼び径150mm						
	1		箇所			
仕切弁室設置工 円形1号 内径250 d=0.8m						
	2		箇所			施工 第0-0035号内訳表
仮仕切弁室設置工 仮鉄蓋(支給品) d=1.2m (VP150)						
	2		箇所			施工 第0-0041号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径 50mm) JWWA 7.5K						
	1		口			施工 第0-0044号内訳表
管明示シート工						
	309.9		m			施工 第0-0045号内訳表
管明示テープ工(ポリエチレン管) 呼び径φ50mm 天端明示無し						
	309.9		m			施工 第0-0046号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0006/0073

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(エンジンカッター) 鋳鉄管 呼び径150mm						
	1		口			施工 第0-0047号内訳表
硬質塩化ビニル管 撤去 呼び径 150mm						
	269		m			施工 第0-0048号内訳表
硬質塩化ビニル管(既設管)撤去切断工 φ 150mm						
	44		口			施工 第0-0049号内訳表
廃プラ運搬 ; クレーン装置付 2t級 吊能力2.9t L=11.0km						
	1.8		t			施工 第0-0050号内訳表
処分費 [廃プラ] ; 投棄量1.8t						
	1		式			施工 第0-0051号内訳表
飲料水供給施設工						
管路土工(本設給水管)						
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下						
	12		m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下 ; バックホウ山積0.28m3						
	4		m2			施工 第0-0002号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0007/0073

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
As殻運搬・処分 アスファルト殻 ダンプトラック(4t積)	0.2	m3				施工 第0-0004号内訳表
掘削積込工 ;バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	2	m3				施工 第0-0008号内訳表
埋戻工(埋戻し材→再生切込碎石) ;バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	1	m3				施工 第0-0010号内訳表
埋戻工(埋戻し材→スクリーニングス) ;バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	1	m3				施工 第0-0012号内訳表
土砂運搬・処分 土砂 ダンプトラック(4t積)	2	m3				施工 第0-0013号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚15cm	4	m2				施工 第0-0016号内訳表
アスファルト舗装工(人力) 密粒度アスコン[再](13) t=50mm 砂散布なし	4	m2				施工 第0-0018号内訳表
管布設工(本設給水管)						
本設給水管材料費	1	式				代価 第0004号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0008/0073

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリエチレン管 据付 呼び径 20mm						
	6.2	m				施工 第0-0052号内訳表
サドル分水栓建込(ポリエチレン管 呼び径 50mm) 配水管呼び径 20mm						
	1	箇所				施工 第0-0053号内訳表
ポリエチレン管(新設管)切断工 呼び径20mm						
	2	口				施工 第0-0054号内訳表
ポリエチレン管継手工 呼び径 20mm						
	5	口				施工 第0-0055号内訳表
止水栓 取付 (呼び径20mm) 接合及び止水栓筐 P P 用						
	1	箇所				施工 第0-0056号内訳表
ポリエチレン管(既設管)撤去切断工 呼び径20mm						
	1	口				施工 第0-0057号内訳表
ドレン配管工						
管路土工 (ドレン配管 φ 30)						
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下						
	6	m				施工 第0-0001号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0009/0073

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下 ；バックホウ山積0.28m3	2	m2				施工 第0-0002号内訳表
As殻運搬・処分 アスファルト殻 ダンプトラック(4t積)	0.1	m3				施工 第0-0004号内訳表
掘削積込工 ；バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	1	m3				施工 第0-0008号内訳表
埋戻工（埋戻し材→再生切込碎石） ；バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	0.9	m3				施工 第0-0010号内訳表
埋戻工（埋戻し材→スクリーニングス） ；バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	0.4	m3				施工 第0-0012号内訳表
土砂運搬・処分 土砂 ダンプトラック(4t積)	1	m3				施工 第0-0013号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚15cm	2	m2				施工 第0-0016号内訳表
アスファルト舗装工（人力） 密粒度アスコン[再](13) t=5 0mm 砂散布なし	2	m2				施工 第0-0018号内訳表
管布設工（ドレン配管 φ30）						

工 事 費 内 訳 書

頁0-0010/0073

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリエチレン管 φ30管材費						
	1		式			代価 第0003号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径 30mm						
	3.5		m			施工 第0-0058号内訳表
ポリエチレン管(新設管)切断工 呼び径30mm						
	3		口			施工 第0-0059号内訳表
ポリエチレン管継手工 呼び径 30mm						
	4		口			施工 第0-0030号内訳表
仮設工						
仮設工						
交通管理工						
交通誘導警備員B						
	86		人			
直接工事費計						

工 事 費 内 訳 書

頁0-0011/0073

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費計							
運搬費							
				式			
仮設材運搬費							
				式			
仮設材等の運搬 製品長→12m以内 ；運搬距離 7. 3 km							
		0.5		t			施工 第0-0060号内訳表
仮設材等の運搬 製品長→12m以内 ；運搬距離 7. 3 km							
		0.5		t			施工 第0-0060号内訳表
仮設材等の積込み・取卸し 〔積込み取卸し(往復分)〕							
		0.5		t			施工 第0-0061号内訳表
技術管理費							
				式			
通水試験費							
				式			工種 第0001号明細表
共通仮設費率 分							
				式			

工 事 費 内 訳 書

頁0-0012/0073

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
純工事費計							
現場管理費							
工事原価計				式			
一般管理費等							
工事価格計				式			
消費税相当額							
総 計				式			

通水試験費

工 種 明 細 表

工種 第0001号明細表

頁0-0013/0073

名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
通水試験工 既設管と連絡して給水車不要						代価 第0005号内訳表
		0.6	日			
合 計						
		1	式			

配水管φ50 管材費

代 価 表

代価 第0001号内訳表

頁0-0014/0073

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
HPPE 片受 直管 φ50×5000L JWWA K144					
	59	本			K 管材費
HPPE 片受 直管 φ50×5000L JWWA K144					
	3	本			K 管材費
EF片受ベント φ50×45°					
	6	個			K 管材費
EF両受ベント φ50×45°					
	4	個			K 管材費
EF両受ベント φ50×22° 1/2					
	2	個			K 管材費
EFソケット φ50					
	3	個			K 管材費
HPPE用 ソフトシル仕切弁 挿し口付 φ50					
	2	個			K 管材費
EF片受フランジ GF φ50					
	1	個			K 管材費
フランジ 継手材 SUS304 B,N GF φ50 7.5K					
	1	組			K 管材費

配水管φ50 管材費

代 価 表

代価 第0001号内訳表

頁0-0015/0073

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
変換ソケット HPPE+PP φ50×30					
	1	個			K 管材費
不断水丁字管 (V型) DCIP用 φ150×50					
	1	個			K 管材費
密着コブ (SUS7 [°] ツシュ) φ50					
	1	個			
不断水仕切弁 DCIP用 φ150					
	1	個			K 管材費
カ型帽 K型 φ150					
	1	個			K 管材費
単 位 当 り					
	1	式			

ト、以管 $\phi 30$ 管材費

代 価 表

代価 第0003号内訳表

頁0-0017/0073

1 式 当り

[illegible]

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリエチレン管 水道用1種軟質 φ20					
	6.2	m			K 管材費
EFボール付分水栓 HPPE 融着 φ50×20					
	1	個			K 管材費
PE分止水栓用ソケット φ20					
	1	個			K 管材費
PEソケット φ20					
	1	個			K 管材費
PEメーター用ソケット φ20					
	2	個			K 管材費
ボール止水栓 φ20					
	1	個			K 管材費
止水栓ボックス 土被り H=600					
	1	組			
単 位 当 り					
	1	式			

通水試験工

代 価 表

頁0-0019/0073

既設管と連絡して給水車不要

代価 第0005号内訳表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
		人			
普通作業員					
		人			
諸雑費					
		%			
単 位 当 り					
	1	日			

舗装版切断 (アスファルト舗装版)

[規格 1] As舗装版厚->15cm以下

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0020/0073

[摘要]

1 m 当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [ハ`キュム式(超低騒音型)・湿式]				コンクリートカッタ [ハ`キュム式(超低騒音型)・湿式] 20cm級			
	K									
	R1		特殊作業員				特殊作業員			
	R2		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R3		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z1		コンクリートカッタ(ブ`レード`) 径18インチ				舗装版切断 カッターブ`レード` 径18インチ			
	Z2		ガ`ソリン レギ`ュラー スタント`				レギ`ュラーガ`ソリン			
	Z									
							計			
	積算単価 =									
	A	舗装版種別		=1		アスファルト舗装版				
	B	アスファルト舗装版厚		=1		15cm以下				

施工 第0-0002号内訳表

頁0-0021/0073

[規格 1] 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下

[規格 2]

[摘要]

当り

[illegible]

施工 第0-0004号内訳表

頁0-0022/0073

〔規格 1〕アスファルト殻

〔規格 2〕ダンプトラック(4t積)

[摘要]

m3

当り

[illegible]

頁0-0023/0073

当り

[illegible]

施工 第0-0007号内訳表

頁0-0024/0073

〔規格 1〕アスファルト殻

[規格 2]

[摘要]

m3

当り

[illegible]

施工 第0-0008号内訳表

頁0-0025/0073

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

m3

当り

[illegible]

〔規格 1〕 土砂 現場制約あり

[規格 2]

[摘要]

頁0-0026/0073

1	m3	当り
---	----	----

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0010号内訳表

頁0-0027/0073

埋戻工（埋戻し材→再生切込砕石）

[規格1]		[規格2]		[摘要]		100	m3	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
土木一般世話役				人				
普通作業員				人				
再生切込砕石 (0～30mm・0～40mm)				m3				
バックホウ運転				時間				
クレーン運転（賃料）				日				
合 計		100		m3				
単 位 当 り		1		m3				
A 埋戻し材の種類 B バックホウ規格				=5 =3	再生切込砕石 バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)			

施工単価表

施工 第0-0012号内訳表

頁0-0028/0073

埋戻工（埋戻し材→スクリーングゑス）

[規格1]		[規格2]		[摘要]		100	m3	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単	価	金 額	備 考
土木一般世話役				人				
普通作業員				人				
スクリーングゑス (0～2.5mm)				m3				
バックホウ運転				時間				
タンク運転（賃料）				日				
合 計		100		m3				
単 位 当 り		1		m3				
A 埋戻し材の種類 B バックホウ規格				=6 =3	スクリーングゑス バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)			

施工 第0-0013号内訳表

頁0-0029/0073

[規格 1] 土砂

〔規格 2〕ダンプトラック(4t積)

〔摘要〕

m3

当り

[illegible]

施工 第0-0014号内訳表

頁0-0030/0073

[規格 1] 処理対象→土砂

[規格 2]

[摘要]

10

m3

当り

[illegible]

頁0-0031/0073

当り

[illegible]

施工 第0-0016号内訳表

頁0-0032/0073

[規格1]上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚15cm [規格2]

[摘要]

100

当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0018号内訳表

頁0-0033/0073

アスファルト舗装工（人力） 規格1 密粒度アスコン[再] (13) t=50mm 規格2 砂散布なし [摘要] 100 m2 当り					
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			12
特殊作業員		人			12
普通作業員		人			12
再生密粒度アスコン TOP13		t			
アスファルト乳剤 PK-3 (プライムコート用)		L			
振動ローラ運転		日			12
振動コンパクタ運転		日			12
諸雑費		%			#02
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			
A アスファルト混合物の種類		=10	密粒度アスコン[再] (13)		
B 仕上り厚 (mm)		=50	仕上り厚 (mm)		
C 瀝青材の種類		=2	プライムコート		
D 砂散布の有無		=1	なし		
E 歩車道区分		=1	車道及び路肩		
F 昼夜間区分		=1	昼間工事		

施工単価表

施工 第0-0021号内訳表

頁0-0034/0073

軽量鋼矢板工（両側分）（たて込み・引抜き）

[規格1]掘削深2.0m以下

[規格2]

[摘要]

100

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転（たて込み）		時間			施工 第0-0022号内訳表
バックホウ運転（引抜き）		時間			施工 第0-0023号内訳表
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業区分		=3	たて込み・引抜き		
B 掘削深		=2	2.0m以下		
C 機種選定（たて込み）		=3	バックホウ 山積	0.28m3	
D 機種選定（引抜き）		=2	バックホウ 山積	0.28m3	

頁0-0035/0073

時間 当り

[illegible]

頁0-0036/0073

時間 当り

[illegible]

施工 第0-0024号内訳表

頁0-0037/0073

[規格 1] 段数 1 段 掘削深 2.0m 以下

[規格 2]

〔摘要〕

m

当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0025号内訳表

頁0-0038/0073

ポリエチレン管(融着接合) 据付

[規格 1] 呼び径 50mm

[規格 2]

[摘要]

10

m

当り

[illegible]

施工 第0-0026号内訳表

頁0-0039/0073

[規格 1] 呼び径50mm

[規格 2]

[摘要]

1 口 当り

[illegible]

施工 第0-0027号内訳表

頁0-0040/0073

〔規格 1〕呼び径 50mm, 1 口継手

[規格 2]

〔摘要〕

箇所 当り

[illegible]

施工 第0-0028号内訳表

頁0-0041/0073

〔規格 1〕呼び径 50mm, 2 口継手

[規格 2]

[摘要]

箇所 当り

[illegible]

施工 第0-0029号内訳表

ホ リエチレン管(メカニカル継手)継手工 呼び径 50mm

当り

[illegible]

施工 第0-0030号内訳表

ポリエチレン管継手工

[規格 2]

[摘要]

1 口 当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0031号内訳表

頁0-0044/0073

カニカル継手 接合(呼び径 150mm)

[規格1]継手：K形 特殊押輪補正あり

[規格2]

[摘要]

1

口

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			(接合) 12
普通作業員		人			(接合) 12
諸雑費		%			#01 (接合) 2
特殊押輪使用による割増		%			#02 (接合)
耐震型補強金具使用による補正		口			
単 位 当 り	1	口			
A 作業区分		=1	接合		
B 継手の種類		=5	K形		
C 呼び径		=3	呼び径 150mm		
E 特殊押輪使用による補正の有無		=2	特殊押輪補正あり		
F ★★割増補正(%)		=	★★割増補正(%)		
G 現場状況		=1	良好(係数 1.0)		
I 耐震型補強金具使用による補正の有無		=2	耐震型補強金具補正あり		

施工 第0-0032号内訳表

頁0-0045/0073

〔規格 1〕縦型仕切弁 呼び径 100mm以下

[規格 2]

[摘要]

基 当 り

[illegible]

施工 第0-0035号内訳表

頁0-0047/0073

[規格 1] 円形1号 内径250

[規格 2] d=0.8m

[摘要]

箇所 当り

[illegible]

施工 第0-0036号内訳表

頁0-0048/0073

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

個

当り

[illegible]

施工 第0-0037号内訳表

頁0-0049/0073

〔規格 1〕円形1号 内径250 調整リング 高さ 50mm 〔規格 2〕

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0-0038号内訳表

頁0-0050/0073

〔規格 1〕円形1号 内径250 上部壁 高さ 150mm

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0-0039号内訳表

頁0-0051/0073

[規格1]円形1号 内径250 下部壁 高さ 300mm

[規格 2]

[摘要]

個 当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0040号内訳表

頁0-0052/0073

レジコンクリート製ボックス設置（円形）

[規格 1] 円形1号 内径250 底版

[規格 2]

[摘要]

個

当り

[illegible]

頁0-0053/0073

箇所 当り

[illegible]

施工 第0-0042号内訳表

頁0-0054/0073

[規格 1]VP150

[規格 2]

[摘要]

1	m	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0-0043号内訳表

頁0-0055/0073

[規格 1] 呼び径 150mm

[規格 2]

[摘要]

10

m

当り

[illegible]

施工 第0-0044号内訳表

頁0-0056/0073

[規格 1] J WWA 7.5K

[規格 2]

[摘要]

1 口 当り

[illegible]

施工 第0-0045号内訳表

頁0-0057/0073

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

100

m

当り

[illegible]

施工 第0-0046号内訳表

頁0-0058/0073

〔規格 1〕呼び径 $\phi 50\text{mm}$ 天端明示無し

[規格 2]

[摘要]

100

m

当り

[illegible]

施工 第0-0047号内訳表

頁0-0059/0073

[規格 1] 鑄鉄管 呼び径150mm

[規格 2]

[摘要]

4

当り

[illegible]

施工 第0-0048号内訳表

頁0-0060/0073

[規格 1] 呼び径 150mm

[規格 2]

[摘要]

10

m

当り

[illegible]

施工 第0-0049号内訳表

頁0-0061/0073

[規格 1] φ 150mm

[規格 2]

[摘要]

4

当り

[illegible]

施工 第0-0051号内訳表

頁0-0063/0073

〔規格 1〕〔 廃プラ 〕

[規格 2]

[摘要]

1 式 当り

[illegible]

施工 第0-0052号内訳表

頁0-0064/0073

[規格 1] 呼び径 20mm

[規格 2]

[摘要]

10

m

当り

[illegible]

施工 第0-0053号内訳表

頁0-0065/0073

[規格 1] 配水管呼び径 20mm

[規格 2]

[摘要]

箇所 当り

[illegible]

施工 第0-0054号内訳表

頁0-0066/0073

[規格 1] 呼び径20mm

[規格 2]

[摘要]

4

当り

[illegible]

施工 第0-0055号内訳表

頁0-0067/0073

[規格 1] 呼び径 20mm

[規格 2]

[摘要]

1 口 当り

[illegible]

頁0-0068/0073

箇所 当り

[illegible]

施工 第0-0057号内訳表

頁0-0069/0073

〔規格 1〕呼び径20mm

[規格 2]

[摘要]

4

当り

[illegible]

施工 第0-0058号内訳表

頁0-0070/0073

[規格 1] 呼び径 30mm

[規格 2]

[摘要]

10

m

当り

[illegible]

施工 第0-0059号内訳表

頁0-0071/0073

[規格 1] 呼び径30mm

[規格 2]

[摘要]

1 口 当り

[illegible]

施工 第0-0060号内訳表

頁0-0072/0073

[規格 1]製品長→12m以内

[規格 2]

[摘要]

1	t	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0-0061号内訳表

頁0-0073/0073

〔規格 1〕〔積込み取卸し(往復分)〕

[規格 2]

[摘要]

1	t	当り
---	---	----

[illegible]

数 量 総 括 表

工 事 名	令和7年度 上水道事業 上久米廻渕線老朽配水管布設替工事			事業区分	水道施設工事	
				工事区分	管路	
工 種 ・ 種 別 ・ 細 目			算 式	数 量	単位	摘 要
本工事費						
管路						
開削工						
管路土工（配水管 φ50）						
	舗装版切断（アスファルト舗装版）	As舗装版厚→15cm以下				
			1165.60 = 1165.60	1,170	m	
	舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下				
			351.68 = 351.68	352	m2	
	As殻運搬・処分	アスファルト殻 ダンプトラック(4t積) L=2.5km				
			17.60 = 17.60	18	m3	
	掘削積込工	バックホウ 山積0.28m3				
			351.52 = 351.52	350	m3	
	人力掘削工					
			1.46 = 1.46	1	m3	
	埋戻工（埋戻し材→再生切込砕石）	バックホウ 山積0.28m3				
			255.75 = 255.75	260	m3	
	埋戻工（埋戻し材→スクリーニングス）	バックホウ 山積0.28m3				
			46.77 = 46.77	47	m3	
	土砂運搬・処分	土砂 ダンプトラック(4t積) L=9.3km				
			352.97 = 352.97	350	m3	
	路盤工（粒調砕石）	上層路盤 施工幅:1.8m未満 仕上り厚15cm				
			351.68 = 351.68	352	m2	
	表層（車道・路肩部）	t=50mm 密粒度アスコン[再](13)				
			351.68 = 351.68	352	m2	
土留工（φ50）						
土留材質料						
		水圧ポンプ含む	1 = 1	1	式	

数 量 総 括 表

工 事 名			令和7年度 上水道事業 上久米廻渕線老朽配水管布設替工事			事業区分	水道施設工事			
						工事区分	管路			
工 種 ・ 種 別 ・ 細 目					算 式		数 量	単位	摘 要	
			軽量鋼矢板工(両側分) (たて込み・引抜き)	掘削深 2.0m以下 矢板長H=2.0m	2.4	=	2.4	2	m	
			支保工(軽量金属)設置・撤去	段数1段 掘削深2.0m以下	2.4	=	2.4	2	m	
			管布設工 (配水管 φ50)							
			配水管 φ50 管材費		1	=	1	1	式	
			配水管 φ50 その他材料費		1	=	1	1	式	
			ポリエチレン管 (融着接合) 据付工	呼び径 50mm	309.9	=	309.9	309.9	m	
			ポリエチレン管(新設管)切断工	呼び径 50mm	11	=	11	11	口	
			ポリエチレン管(融着接合)継手工	呼び径 50mm (1口)	81	=	81	81	箇所	
			ポリエチレン管(融着接合)継手工	呼び径 50mm (2口)	3	=	3	3	箇所	
			ポリエチレン管メカニカル継手工	呼び径 50mm	1	=	1	1	口	変換ソケットφ50×φ30
			PP管継手工	呼び径 30mm	1	=	1	1	口	変換ソケットφ50×φ30
			メカニカル継手接合 (呼び径 150mm)	K形 特押あり	1	=	1	1	口	帽
			铸铁製仕切弁(機械力)設置	縦型仕切弁 呼び径 50mm	2	=	2	2	基	
			不断水連絡工 (150mm×50mm)	铸铁製 SUSブッシュ含む	1	=	1	1	箇所	
			不断水仕切弁設置工	铸铁製 呼び径 150mm	1	=	1	1	箇所	ストッパー
			仕切弁室設置工	円形1号 内径250 d=0.8m	2	=	2	2	箇所	

数 量 総 括 表

工 事 名				令和7年度 上水道事業 上久米廻渕線老朽配水管布設替工事			事業区分	水道施設工事		
							工事区分	管路		
工 種 ・ 種 別 ・ 細 目				算 式			数 量	単位	摘 要	
			仮仕切弁室設置工	仮鉄蓋（支給品） d=1.2m（VP150）	2	=	2	2	箇所	不断水T字管 不断水仕切弁
			z	JWWA 7.5K	1	=	1	1	口	
			管明示シート工		309.9	=	309.9	309.9	m	HPPE・HIVP用
			管明示テープ工（ポリエチレン管布設工）	呼び径 50mm	309.9	=	309.9	309.9	m	
			铸铁管(既設管)撤去切断工 (エンジンカッター)	呼び径 150mm	1	=	1	1	口	帽設置時
			硬質塩化ビニル(既設管)撤去	呼び径 150mm	269.0	=	269.0	269.0	m	
			硬質塩化ビニル管(既設管)切断工	呼び径 150mm	44	=	44	44	口	
			廃プラ運搬	L=9.5km	1.8	=	1.8	1.8	t	VP管6.7kg/m
			廃プラ処分費		1	=	1	1	式	塩化ビニル製建設資材 換算係数 0.2t/m³
飲料水供給施設工										
	管路土工（本設給水管）									
			舗装版切断（アスファルト舗装版）	As舗装版厚→15cm以下	12.40	=	12.40	12	m	
			舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	3.72	=	3.72	4	m2	
			As殻運搬・処分	アスファルト殻 ダンプトラック(4t積) L=2.5km	0.19	=	0.19	0.2	m3	
			掘削積込工	バックホウ 山積0.28m3	2.42	=	2.42	2	m3	
			埋戻工（埋戻し材→再生切込碎石）	バックホウ 山積0.28m3	1.12	=	1.12	1	m3	

数 量 総 括 表

工 事 名				令和7年度 上水道事業 上久米廻渕線老朽配水管布設替工事			事業区分		水道施設工事	
							工事区分		管路	
工 種 ・ 種 別 ・ 細 目				算 式			数 量	単位	摘 要	
			埋戻工（埋戻し材→スクリーングラス）	バックホ 山積0.28m3						
					0.74	=	0.74	1	m3	
			土砂運搬・処分	土砂 ダンプトラック(4t積) L=9.3km						
					2.42	=	2.42	2	m3	
			路盤工（粒調碎石）	上層路盤 施工幅:1.8m未満 仕上り厚15cm						
					3.72	=	3.72	4	m2	
			表層（車道・路肩部）	t=50mm 密粒度アスコン[再](13)						
					3.72	=	3.72	4	m2	
			管布設工（本設給水管）							
			本設給水管 管材費							
					1	=	1	1	式	
			ポリエチレン管据付	呼び径 20mm						
					6.2	=	6.2	6.2	m	
			サドル分水栓建込 (ポリエチレン管 呼び径 50mm)	配水管呼び径 20mm 融着						
					1	=	1	1	箇所	
			ポリエチレン管(新設管)切断工	呼び径 20mm						
					2	=	2	2	口	
			ポリエチレン管継手工	呼び径 20mm						
					5	=	5	5	口	
			止水栓設置工	呼び径 20mm ボックス設置含む						
					1	=	1	1	箇所	
			ポリエチレン管(既設管)撤去切断工	呼び径 20mm						
					1	=	1	1	口	
			ドレン配管工							
			管路土工（ドレン配管 φ30）							
			舗装版切断（アスファルト舗装版）	As舗装版厚→15cm以下						
					5.80	=	5.80	6	m	
			舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下						
					1.74	=	1.74	2	m2	

数 量 総 括 表

工 事 名				令和7年度 上水道事業 上久米廻渕線老朽配水管布設替工事			事業区分	水道施設工事		
							工事区分	管路		
工 種 ・ 種 別 ・ 細 目				算 式			数 量	単位	摘 要	
			As殻運搬・処分	アスファルト殻 ダンプトラック(4t積) L=2.5km	0.09	=	0.09	0.1	m3	
			掘削積込工	バックホウ 山積0.28m3	1.48	=	1.48	1	m3	
			埋戻工（埋戻し材→再生切込砕石）	バックホウ 山積0.28m3	0.87	=	0.87	0.9	m3	
			埋戻工（埋戻し材→スクリーニングス）	バックホウ 山積0.28m3	0.35	=	0.35	0.4	m3	
			土砂運搬・処分	土砂 ダンプトラック(4t積) L=9.3km	1.48	=	1.48	1	m3	
			路盤工（粒調砕石）	上層路盤 施工幅:1.8m未満 仕上り厚15cm	1.74	=	1.74	2	m2	
			表層（車道・路肩部）	t=50mm 密粒度アスコン[再](13)	1.74	=	1.74	2	m2	
			管布設工（ドレン配管φ30）							
			ドレン配管φ30 管材費		1	=	1	1	式	
			ポリエチレン管据付	呼び径 30mm	3.5	=	3.5	3.5	m	
			ポリエチレン管(新設管)切断工	呼び径 30mm	3	=	3	3	口	
			ポリエチレン管継手工	呼び径 30mm	4	=	4	4	口	
仮設工										
仮設工										
			交通管理工							
			交通誘導警備員B		86	=	86	86	人	

数 量 総 括 表

工 事 名				令和7年度 上水道事業 上久米廻渕線老朽配水管布設替工事			事業区分	水道施設工事	
							工事区分	管路	
工 種 ・ 種 別 ・ 細 目				算 式			数 量	単位	摘 要
運搬費									
仮設材運搬費									
			仮設材等の運搬（往路）	製品長->12m以内 運搬距離 7.3km	0.479	= 0.48	0.5	t	
			仮設材等の運搬（復路）	製品長->12m以内 運搬距離 7.3km	0.479	= 0.48	0.5	t	
			仮設材等の積込み・取卸し	積込み取卸し(往復分)	0.479	= 0.48	0.5	t	
技術管理費									
通水試験費									
			通水試験工	500～2000m/日	311.3 / 500.0	= 0.62	0.6	日	166.5+144.8

(HPPE φ 50)										上段：変更前	
本 設 配 管 材 料 数 量 表										NO. 1	
下段：変更後											
名 称	形状・寸法	単位長	単位	A-1	A-2					合 計	摘 要
HPPE 直管	φ 50×5000L	5.000	本 (m)	32	27					59	
HPPE 直管	φ 50×5000L	5.000		(4.8)	(6.9)					3	切管調書よりリンク
EF片受ベント	φ 50×45°	0.270	個	3	3					6	
EF両受ベント	φ 50×45°	0.220	個	1	3					4	
EF両受ベント	φ 50×22° 1/2	0.180	個		2					2	
EFソケット	φ 50		個	2	1					3	
HPPE用挿し口付き ソフトシル仕切弁	φ 50	0.680	個	1	1					2	
EF片受フランジ	GF φ 50	0.160	個		1					1	不断水*1
	SUS304 B,N GF φ 50 7.5K			1				1	EFフランジ*1		
変換ソケット	HPPE+PP φ 50×30		個	1						1	
不断水丁字管	DCIP用 V型・SUS7 ⁷ ツシュ含む φ 150×50	0.238	基		1					1	
ストッパー	DCIP用 φ 150		基		1					1	
メカ型帽	K形 φ 150		個		1					1	
仕切弁ボックス	円形1号 d=0.8m		組	1	1					2	
	仮鉄蓋（支給品） d=1.2m（VP150）			2					2	不断水T字管 不断水仕切弁	
埋設アルミシート	W150		m	165.8	144.1					309.9	
配管明示テープ	HPPE φ 50		m	39.8	34.6					74.4	延長×0.24m
管延長	(HPPE φ 50)			165.8	144.1					309.9	
仕切弁延長	(HPPE φ 50)			0.7	0.7					1.4	
総延長	(HPPE φ 50)			166.5	144.8					311.3	

[illegible]

切 管 調 書

HPPE φ 50

L= 5.00 m

NO. 3

番号	甲 切 管	乙 切 管			使用長 (m)	残管長 (m)	切断 溝切	切断	
1	$\frac{2.10}{4}$	$\frac{1.00}{3}$	$\frac{1.00}{2}$	$\frac{0.60}{1}$	4.700	0.300		4	
2	$\frac{0.90}{8}$	$\frac{0.60}{7}$	$\frac{1.00}{6}$	$\frac{0.60}{5}$	3.100	1.900		4	
3	$\frac{1.90}{10}$	_____	$\frac{1.00}{11}$	$\frac{1.00}{9}$	3.900	1.100		3	
	_____	_____	_____	_____					
	_____	_____	_____	_____					
	_____	_____	_____	_____					
	_____	_____	_____	_____					
	_____	_____	_____	_____					
	_____	_____	_____	_____					
	_____	_____	_____	_____					
	_____	_____	_____	_____					
	_____	_____	_____	_____					
	_____	_____	_____	_____					
	_____	_____	_____	_____					
	_____	_____	_____	_____					
	_____	_____	_____	_____					
	_____	_____	_____	_____					
	_____	_____	_____	_____					
	_____	_____	_____	_____					
(本)	甲切管計	乙切管計			(m)	(m)	(口)	(口)	(個)
3	4.90 m	6.80 m			11.70	3.30		11.00	

[illegible]

下段：變更後

NO. 5

[illegible]

下段：變更後

NO. 6

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

下段：變更後

NO. 4

[illegible]

[illegible]

下段：變更後

NO. 5

[illegible]

[illegible]

[illegible]

土工単位数量計算書				本設断面 4			
布設管路		φ 50 mm	外径 φ 60 mm	市道車道			
		控除		0.003 m ²			
As 舗装 0.050 d= 0.800 H= 0.960 0.910 掘削幅 B= 0.600 機 械 掘 削 埋 戻 再生碎石 スクリーニング^ス HPPE・HIVP φ 50 mm 再生密粒度As 粒調碎石 0.500 0.100 0.060 0.100 舗装 0.050 路盤 0.150 0.260							
工 種	形状寸法	計 算 式				単位	m当り 数量
舗装版切断工	As t=15cm以下	1.000 × 2				m	2.00
舗装版取壊工	As t=10cm以下	1.000 × 0.600				m ²	0.60
残塊運搬・処分工	As殻	0.600 × 0.050				m ³	0.03
機械掘削工	機械	0.600 × 0.910				m ³	0.55
残土運搬・処分工	土砂	0.550				m ³	0.55
埋戻工	再生碎石	0.600 × 0.500				m ³	0.30
埋戻工	スクリーニング ^ス	0.600 × 0.260 - 0.003				m ³	0.15
路盤工	粒調碎石 t=15cm	0.600 × 1.000				m ²	0.60
舗装仮復旧工	再生密粒度As t=5cm	0.600 × 1.000				m ²	0.60

[illegible]

[illegible]

土工単位数量計算書					本設断面 1-T				
布設管路		φ	mm	外径 φ	mm	市道車道			
		控除			m ²				
既設管 φ		150	mm	外径 φ	165	mm	既設管单独撤去		
		控除			0.021	m ²	掘削幅 B= 0.600		
				As					
				舗装					
				0.050					
				d=					
				H=					
				1.165					
				1.000					
				1.115					
				0.165					
				再生密粒度As					
				0.050					
				0.050					
				粒調碎石					
				0.150					
				0.150					
				0.965					
				埋 戻					
				再生碎石					
				機 械					
				掘 削					
				既設VP					
				φ 150	mm				

工 種	形状寸法	計 算 式			単位	m当り 数量	
舗装版切断工	As t=15cm以下	1.000	×	2	m	2.00	
舗装版取壊工	As t=10cm以下	1.000	×	0.600	m ²	0.60	
残塊運搬・処分工	As殻	0.600	×	0.050	m ³	0.03	
機械掘削工	機械	0.600	×	1.115 - 0.021	m ³	0.65	
残土運搬・処分工	土砂	0.650				m ³	0.65
埋戻工	再生碎石	0.600	×	0.965	m ³	0.58	
路盤工	粒調碎石 t=15cm	0.600	×	1.000	m ²	0.60	
舗装仮復旧工	再生密粒度As t=5cm	0.600	×	1.000	m ²	0.60	

[illegible]

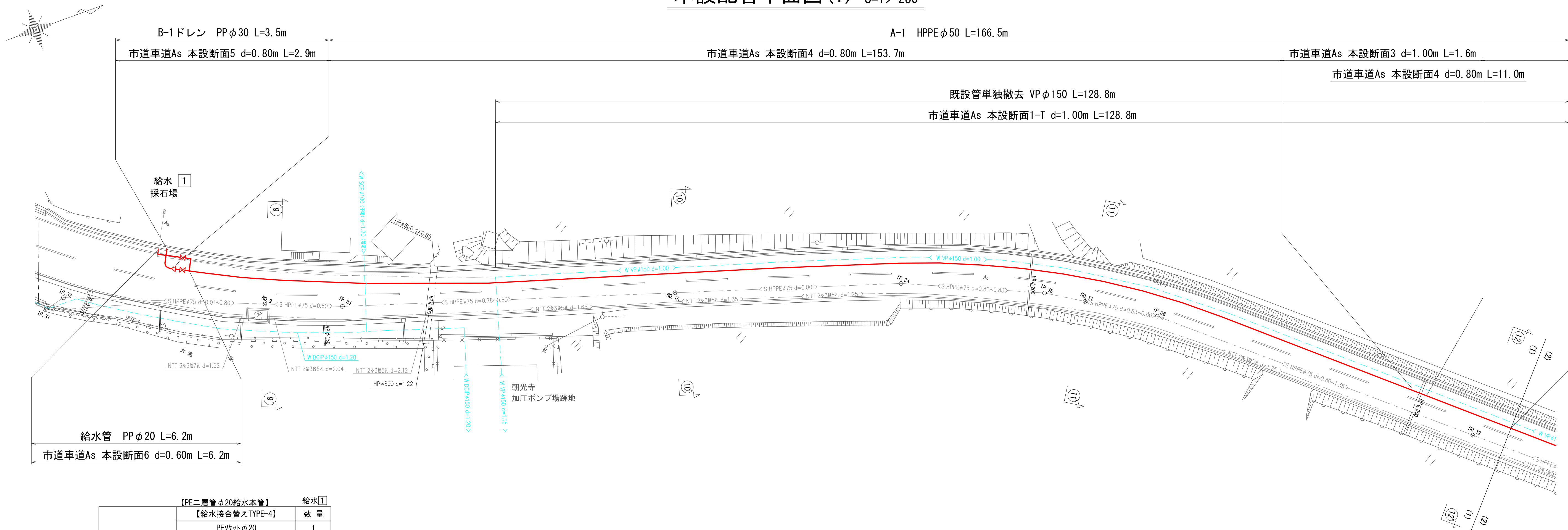
位置図 S=1／5000



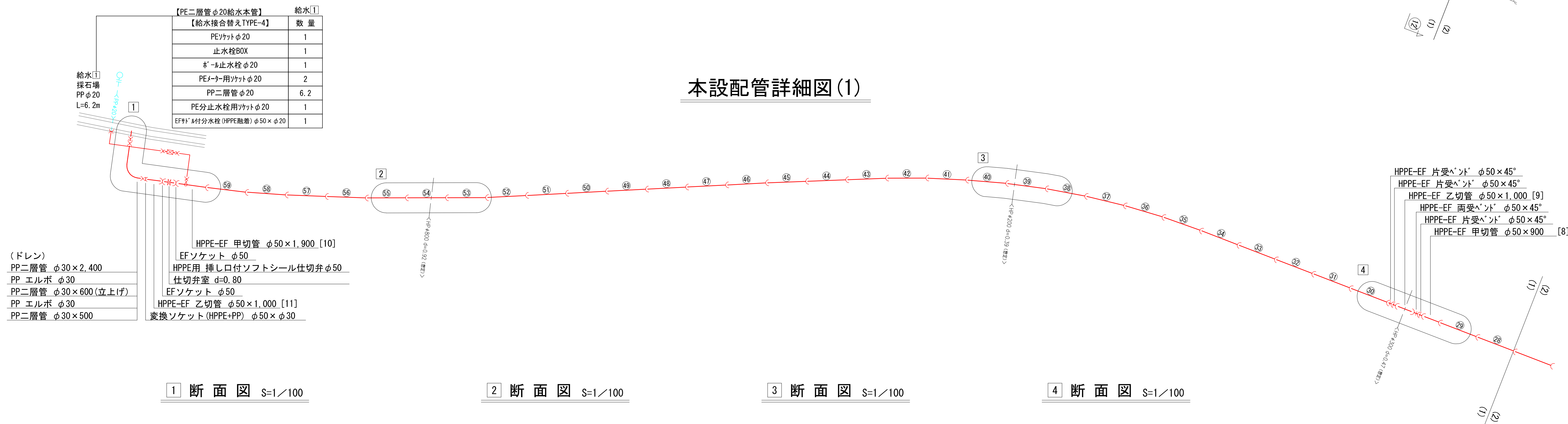
凡 例	
	施工範囲

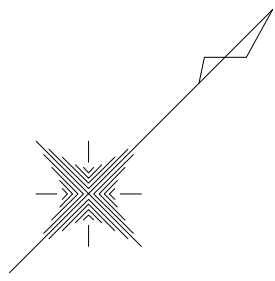
令和7年度 上水道事業	
上久米廻測線老朽配水管布設替工事	
加東市 上久米 地内 ほか	
位 置 図	1 業
縮尺 1/5000	6 全
加 東 市	

本設配管平面図(1) S=1/250

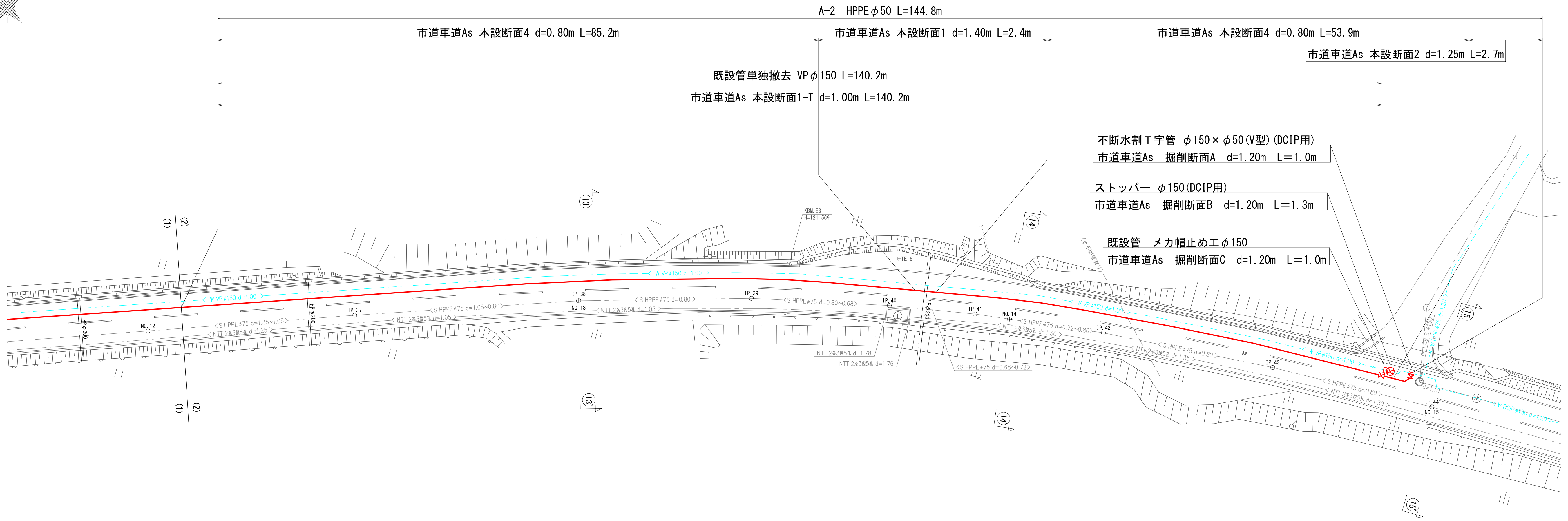


本設配管詳細図(1)

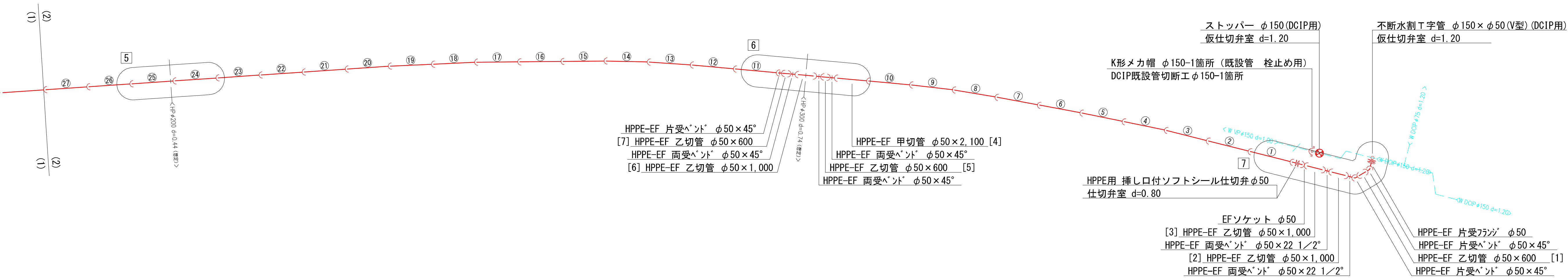




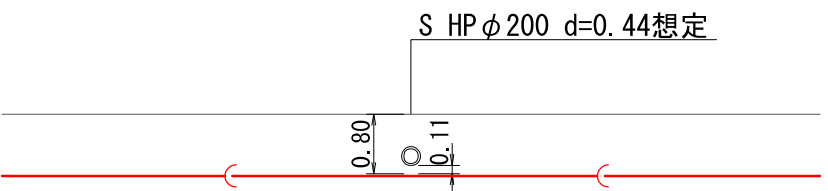
本設配管平面図(2) S=1／250



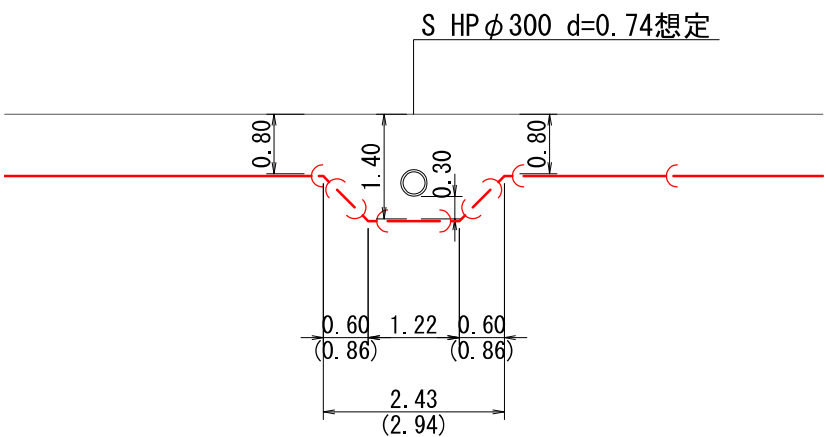
本設配管詳細図(2)



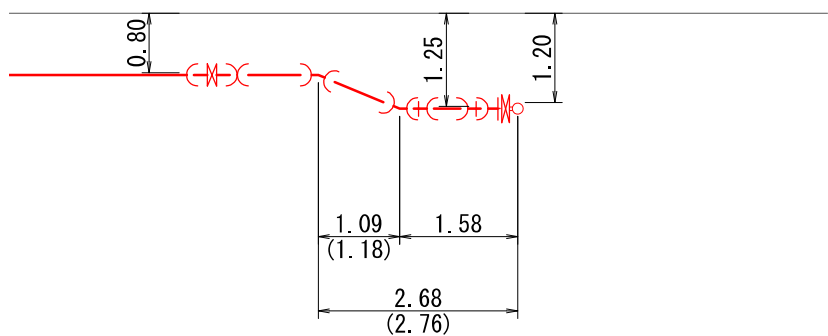
5 断面図 S=1／100



6 断面図 S=1／100



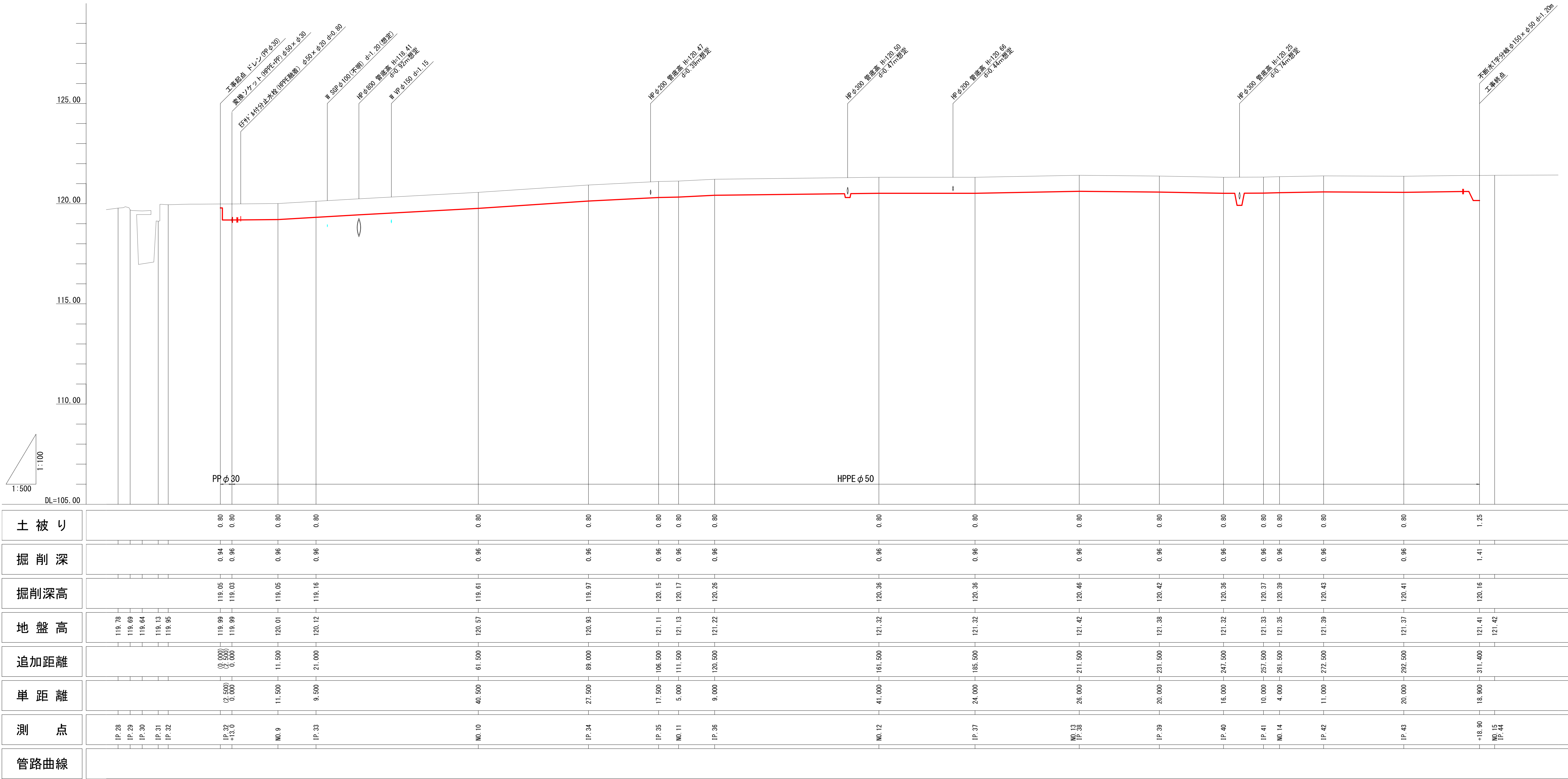
7 断面図 S=1／100



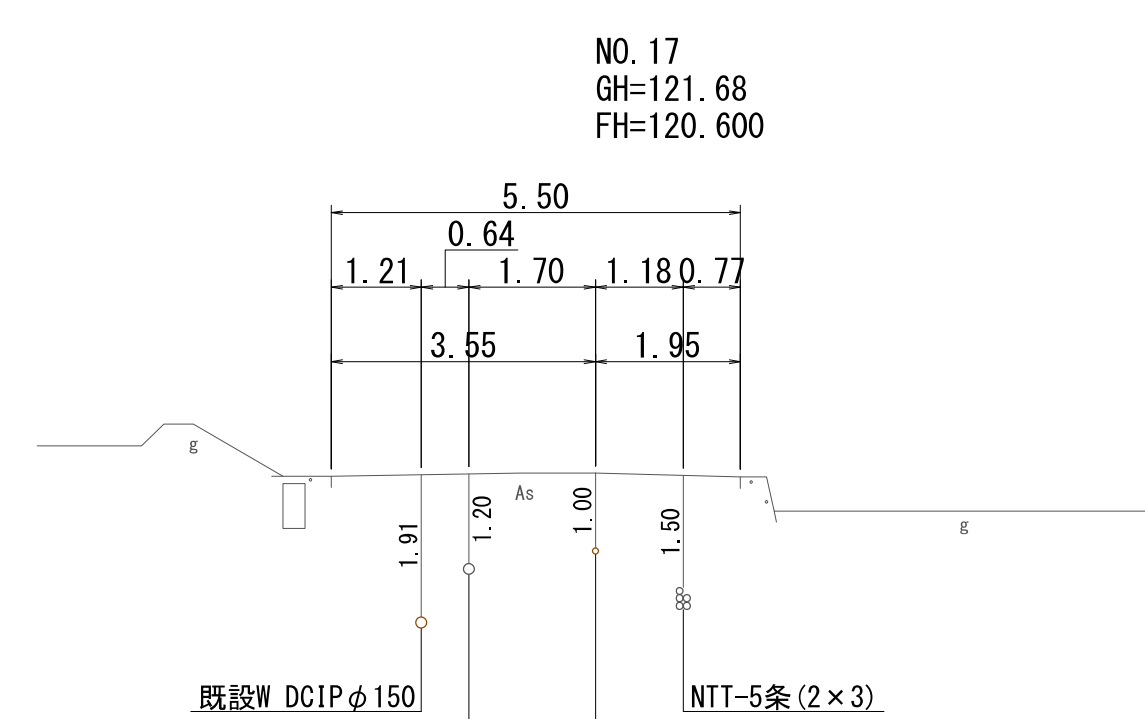
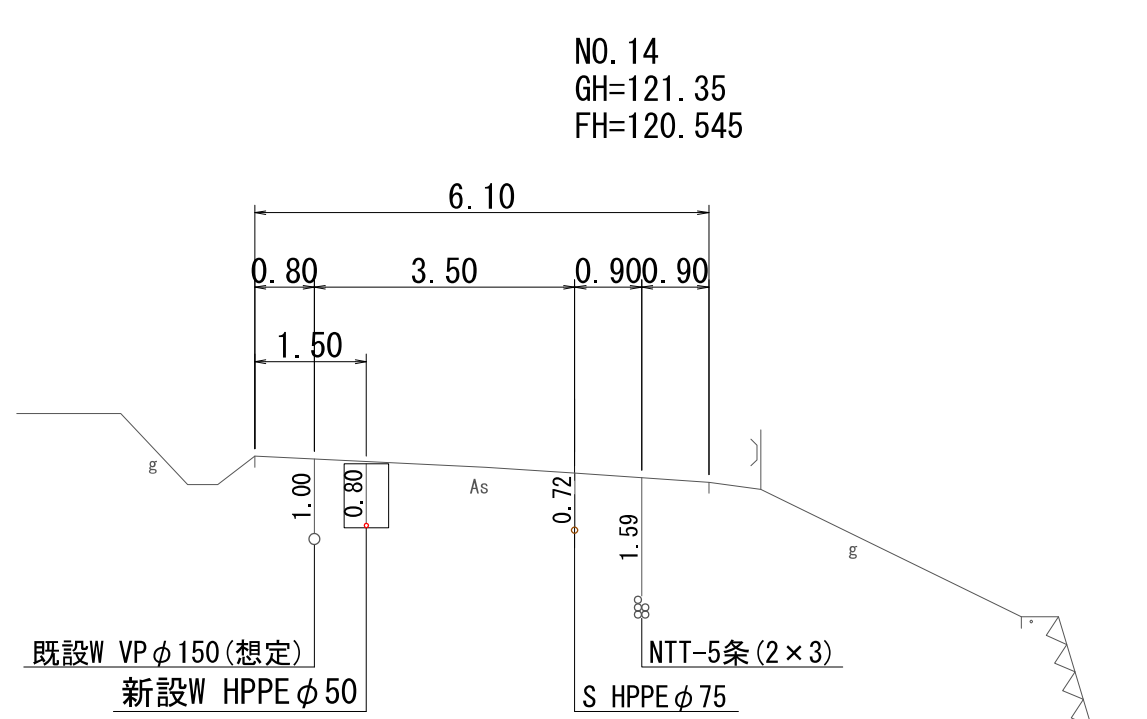
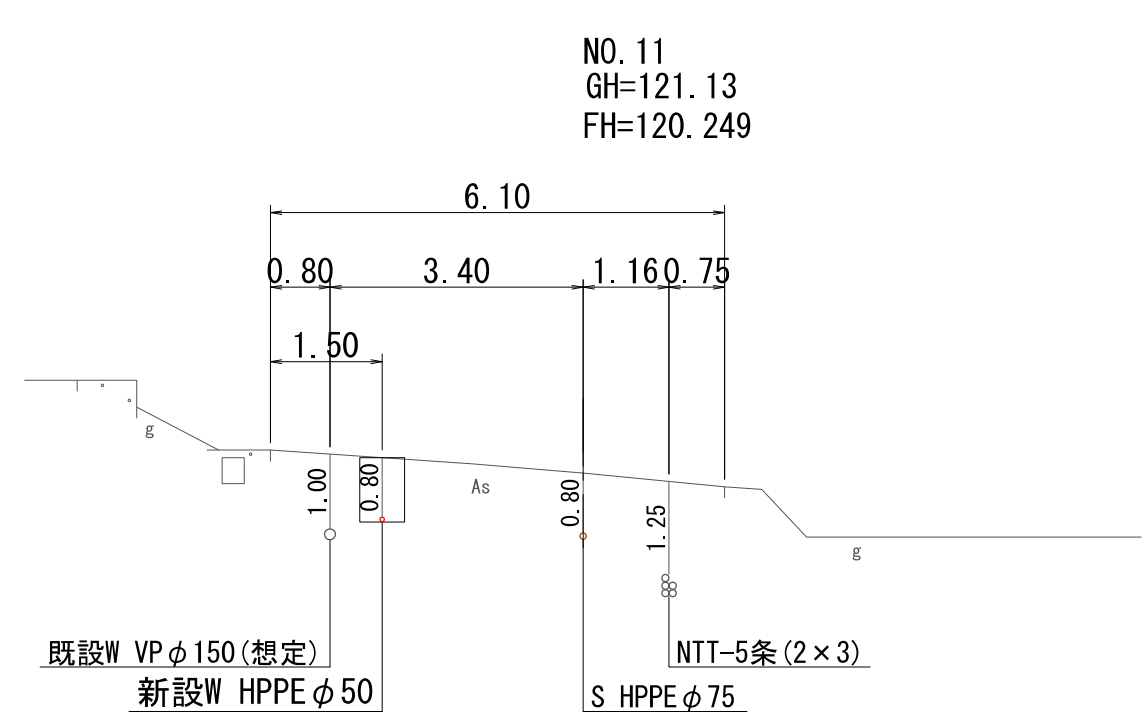
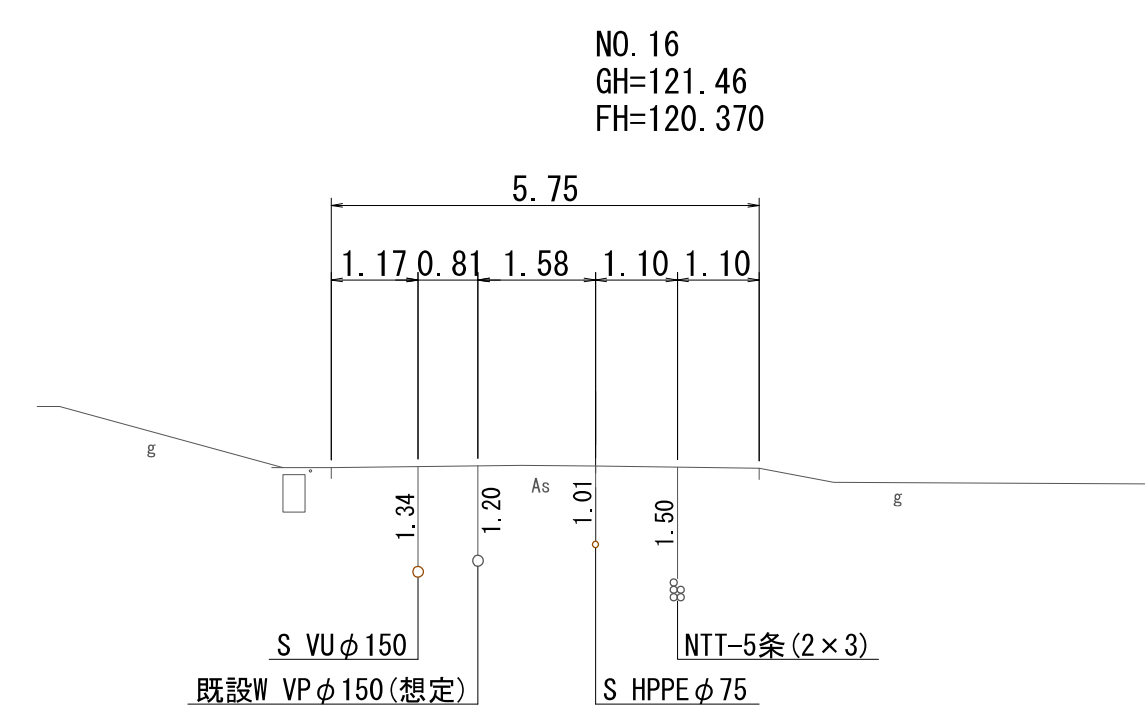
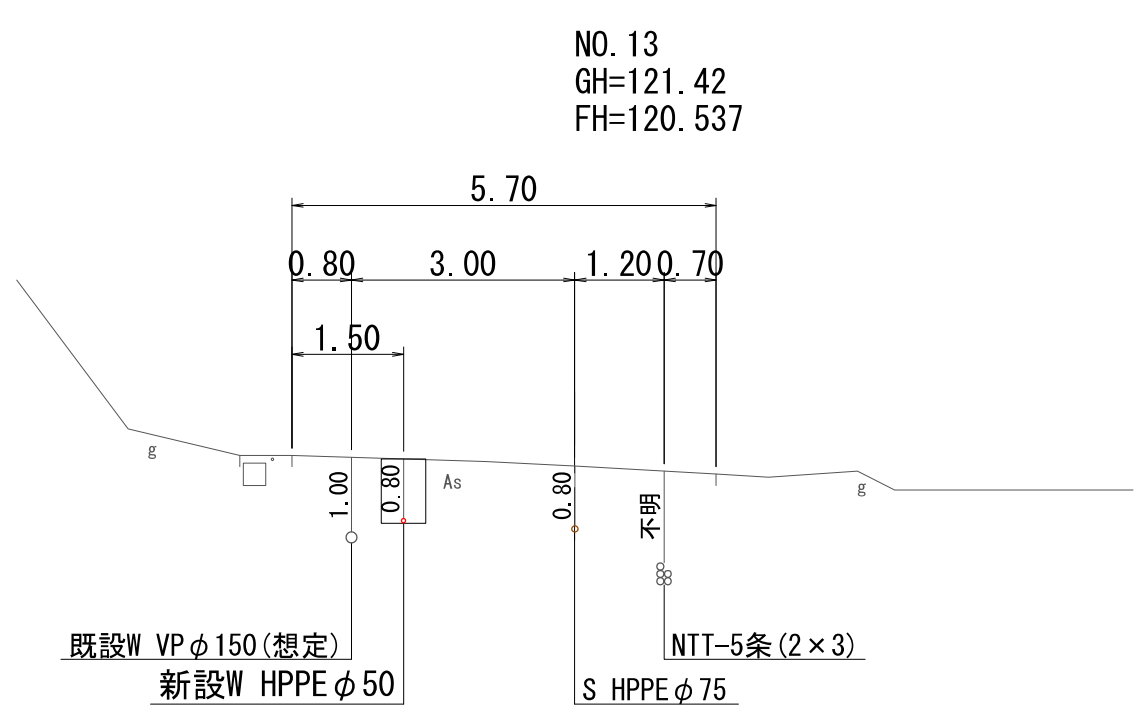
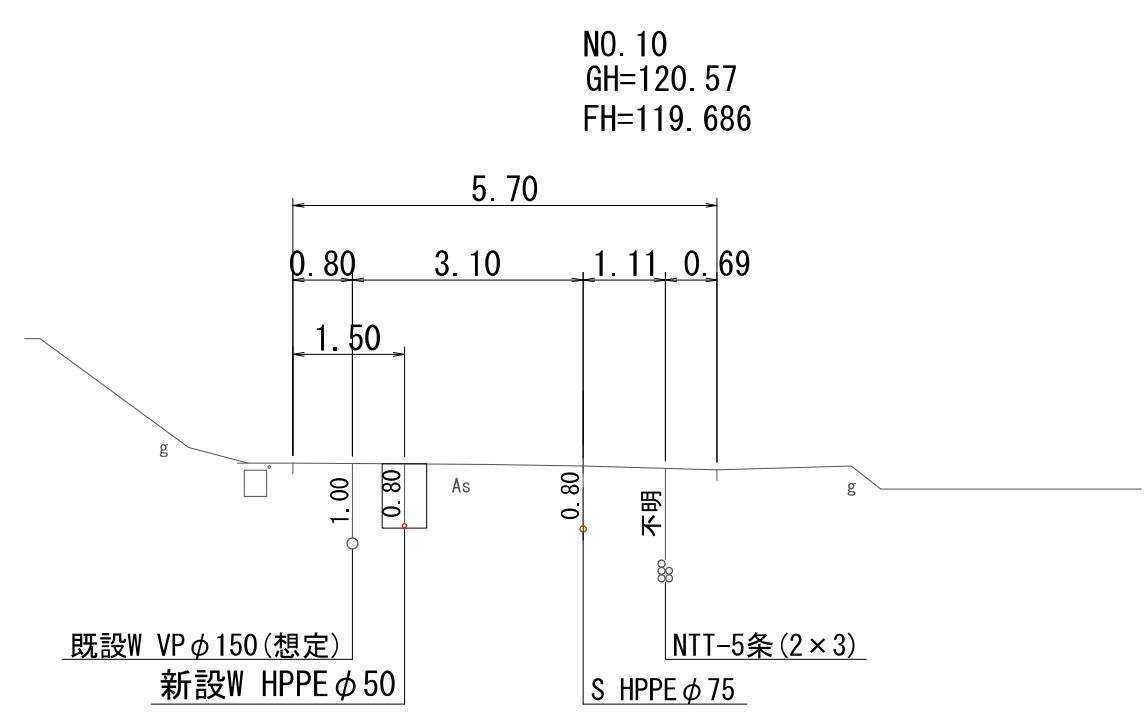
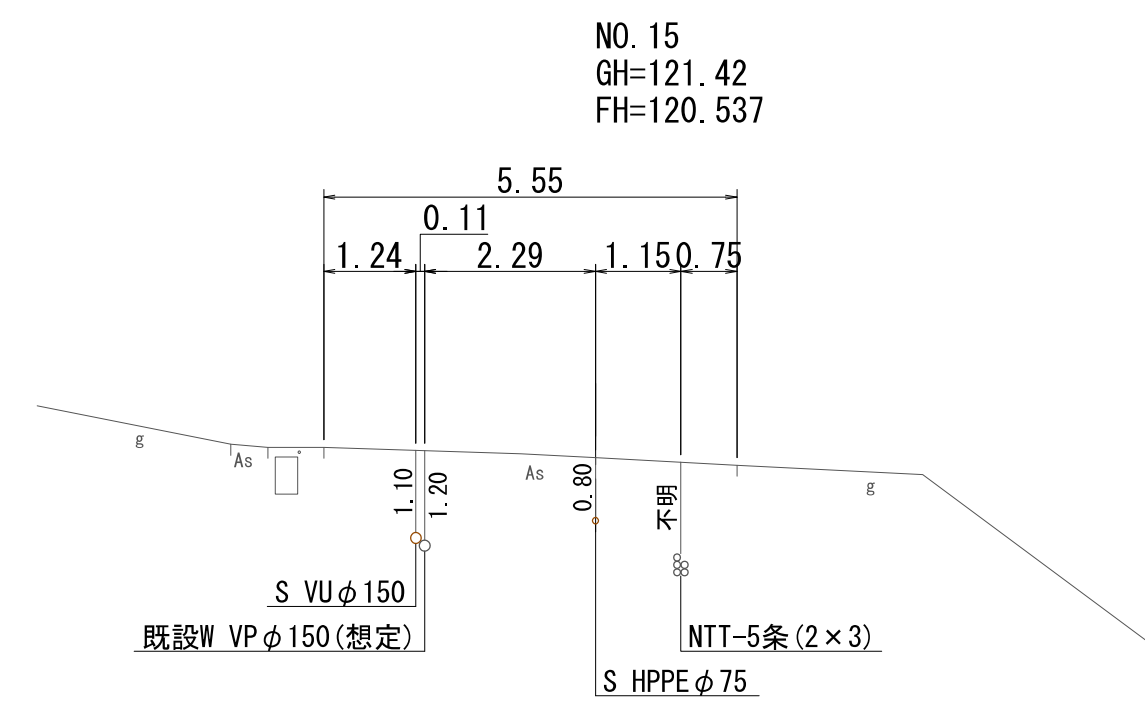
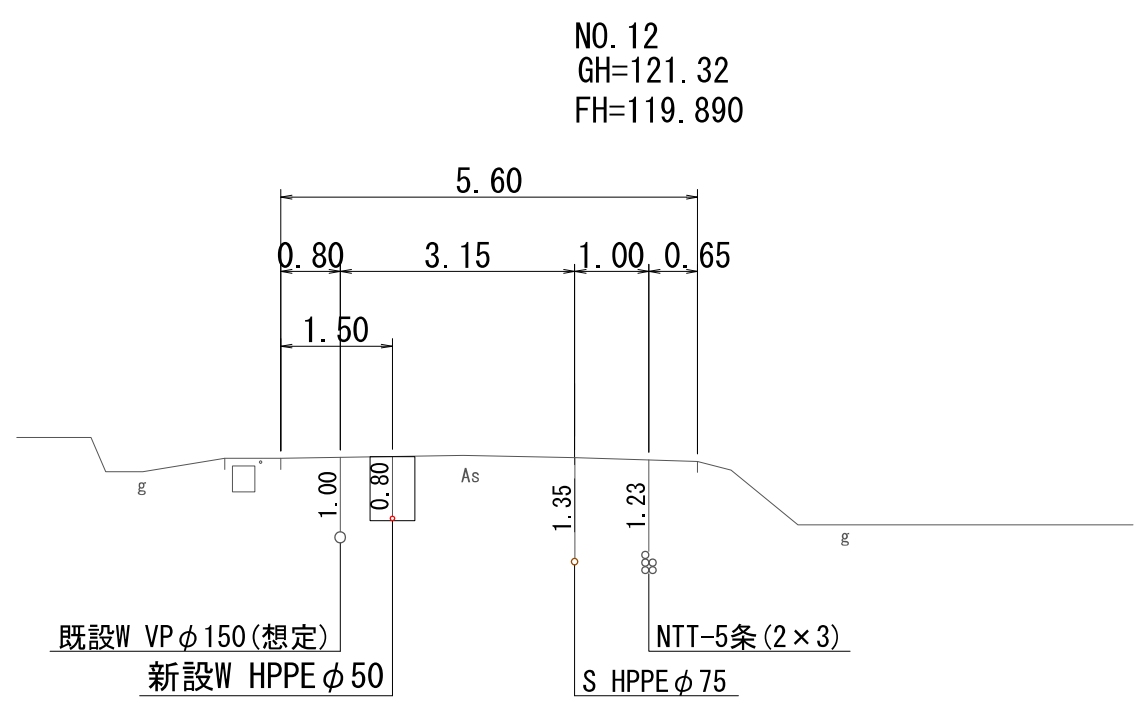
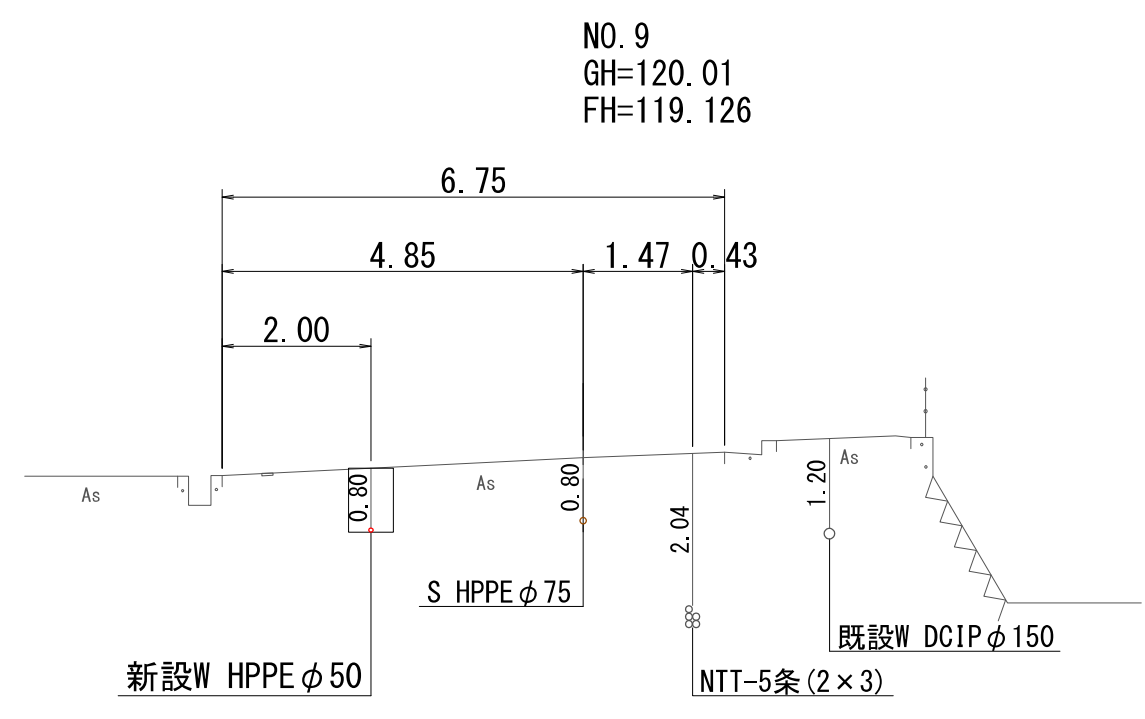
令和7年度 上水道事業	
上久米廻測線老朽配水管布設工事業	
加東市 上久米 地内 ほか	
本設配管平面図(2)	3 業 6 全
本設配管詳細図(2)	
縮尺 1/250	
加 東 市	

縦断図

H=1/500
V=1/100

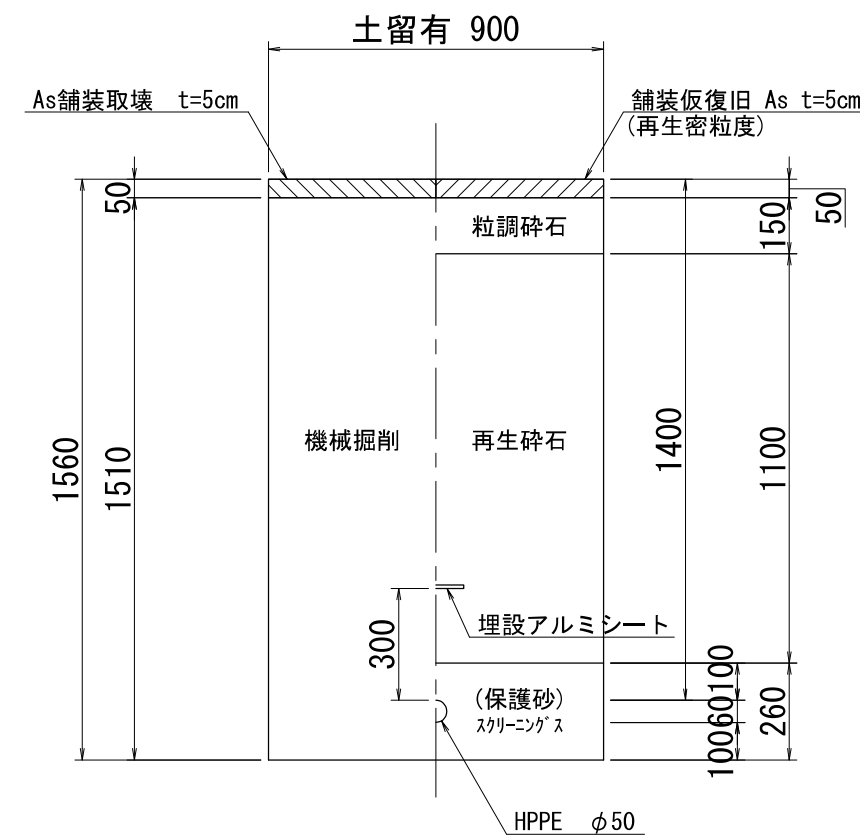


横断図 S=1／100

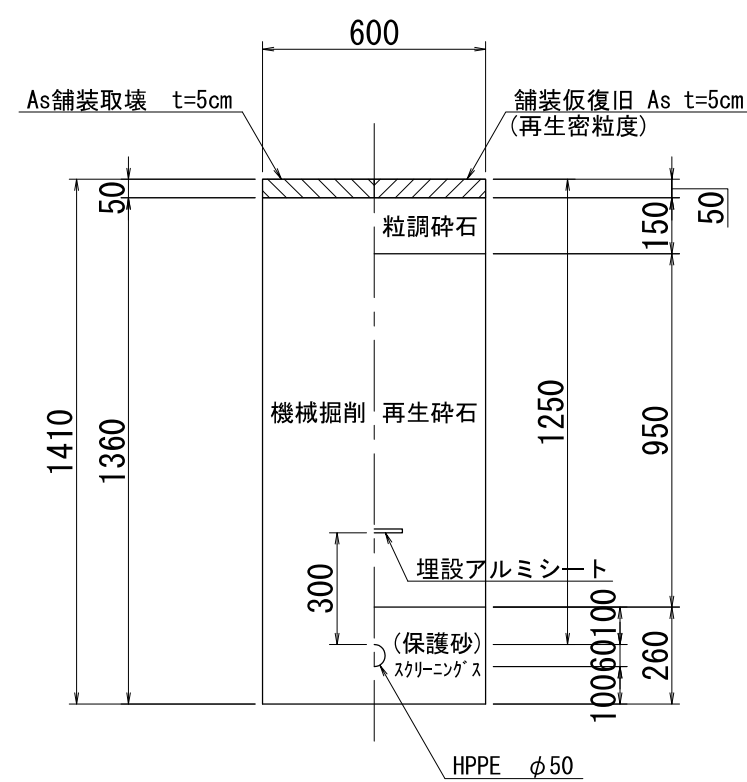


本設土工

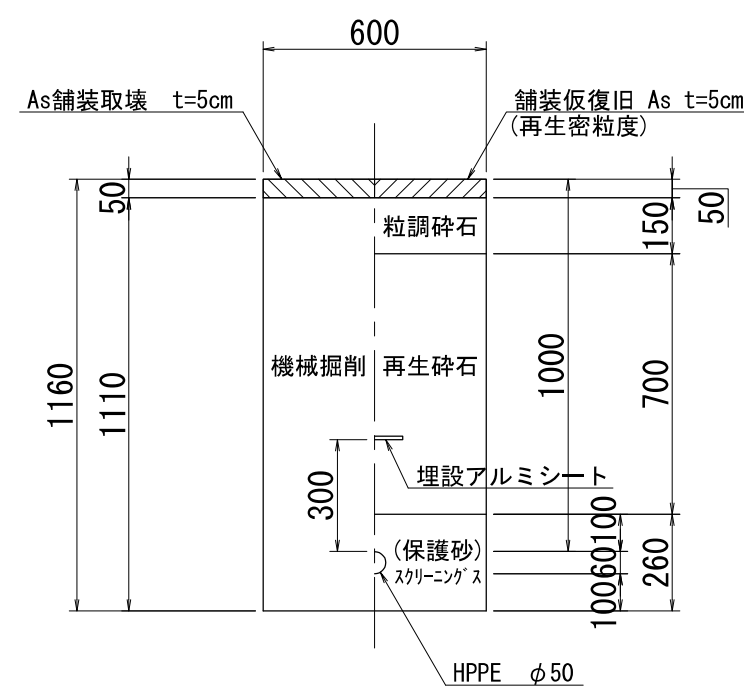
掘 削 埋 戻



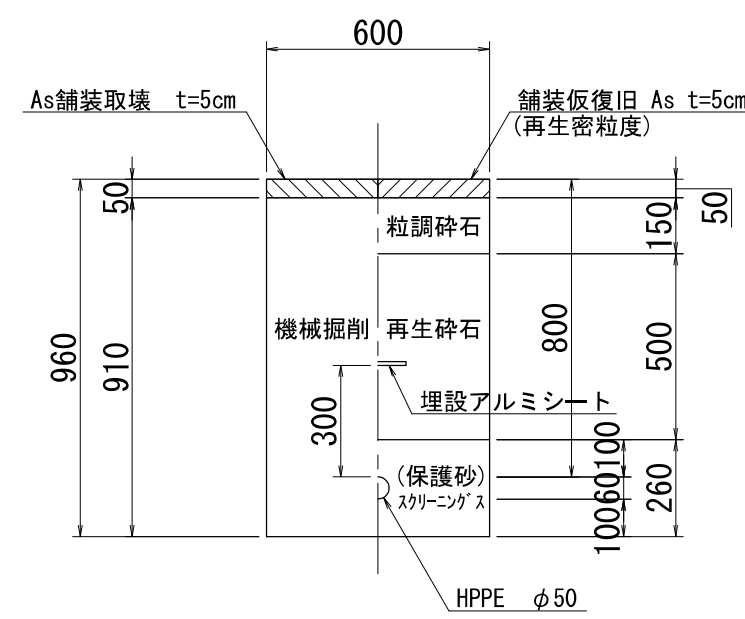
掘 削 埋 戾



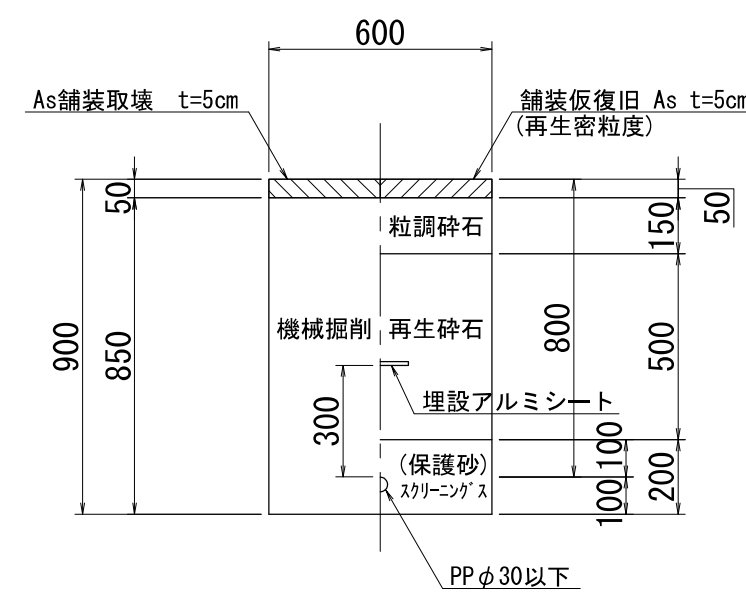
掘 削 埋 戾



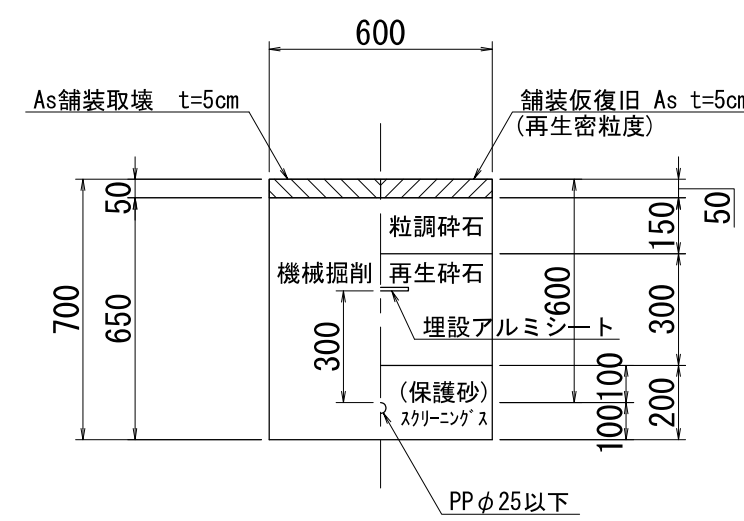
掘 削 埋 戾



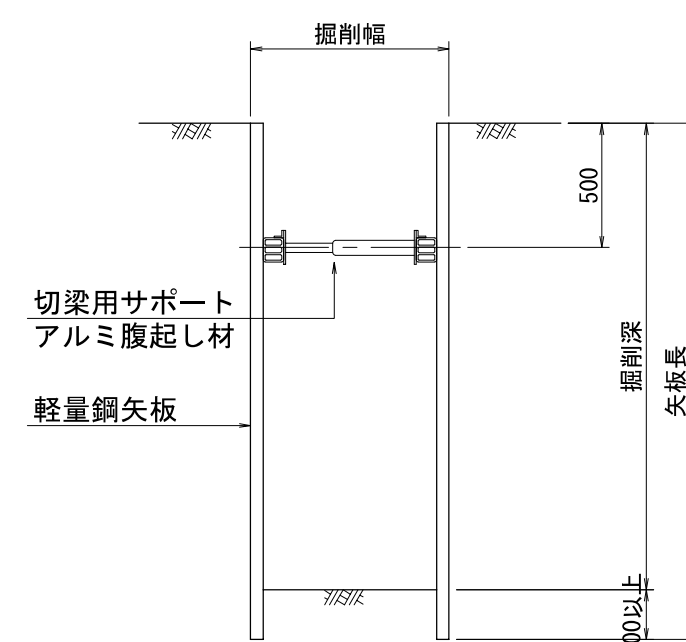
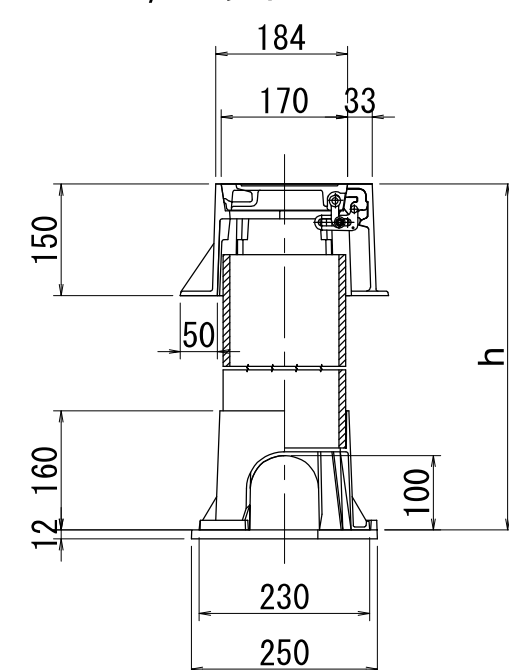
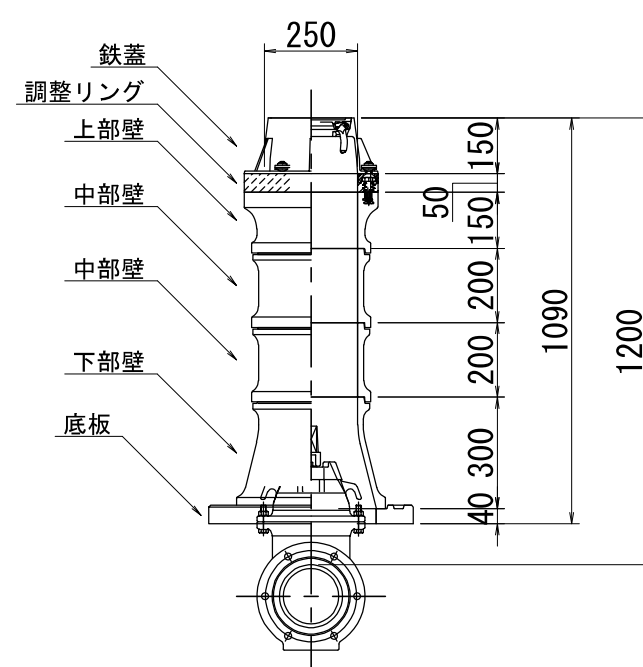
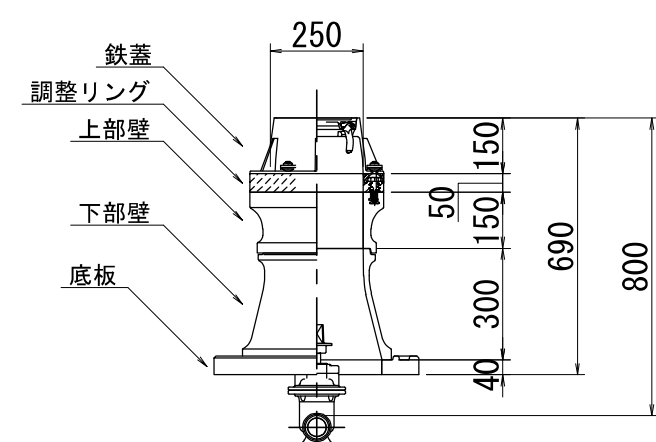
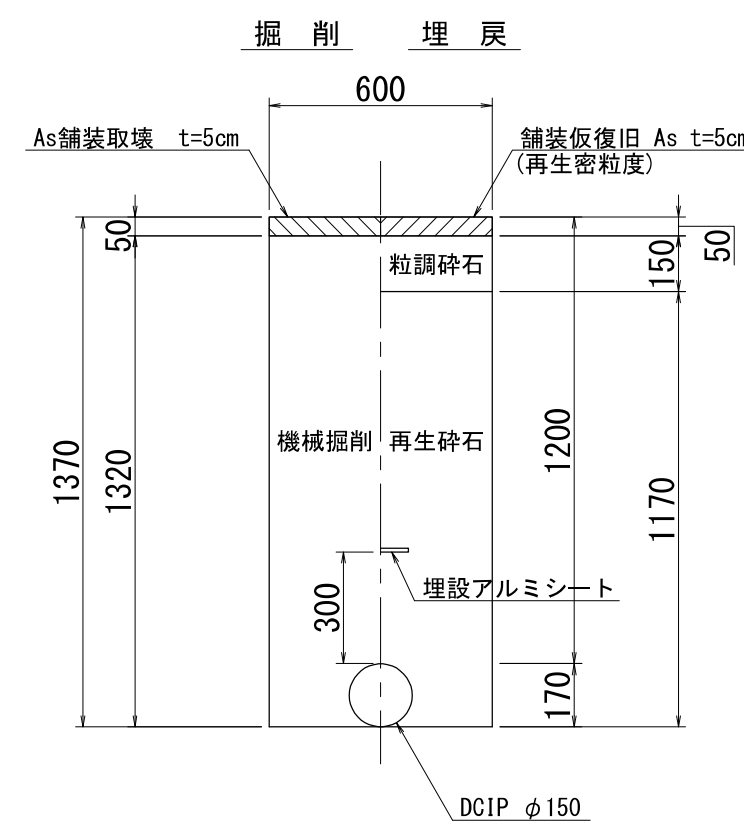
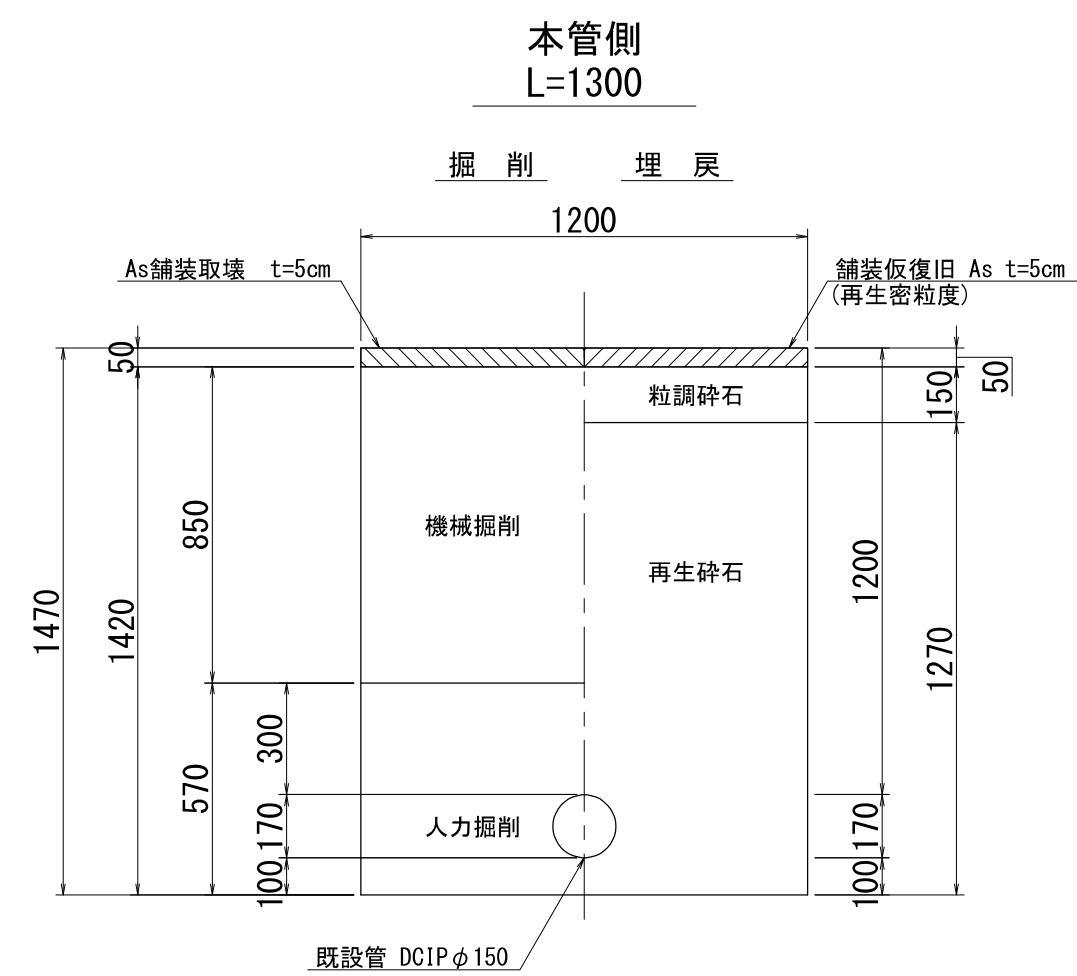
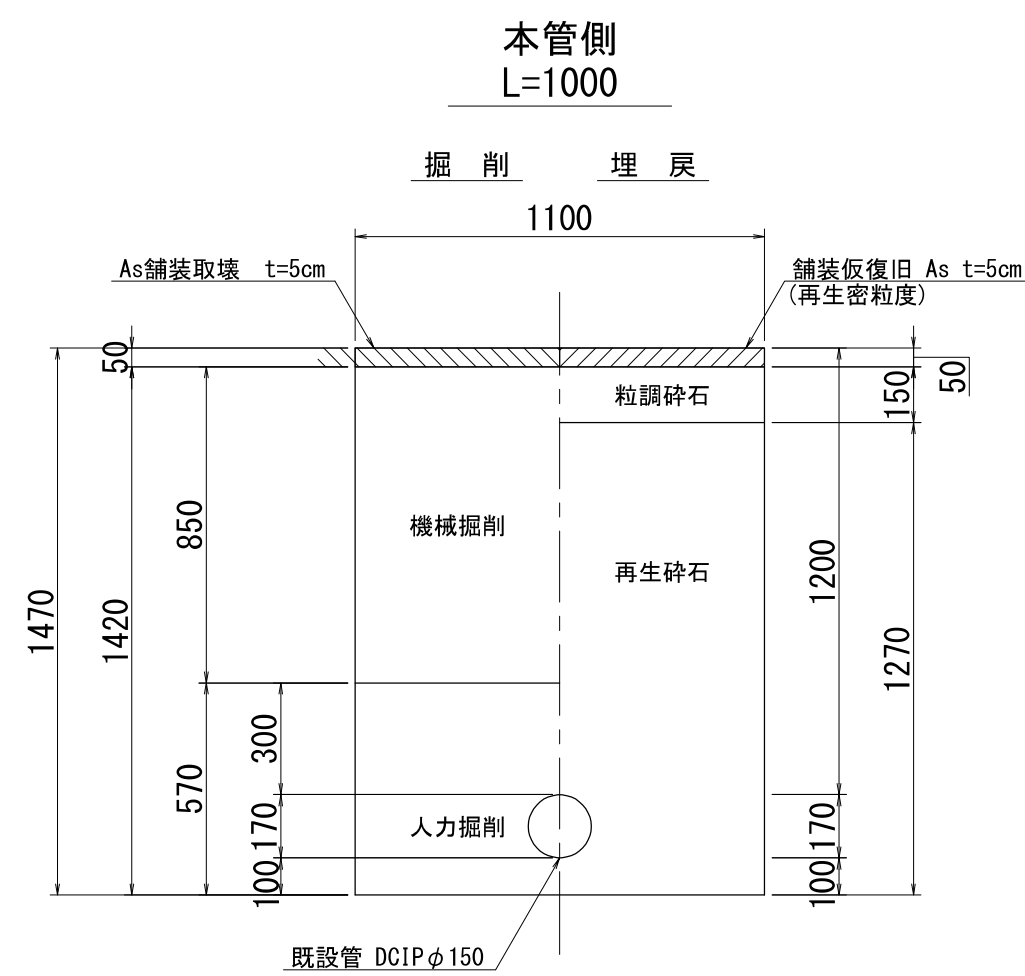
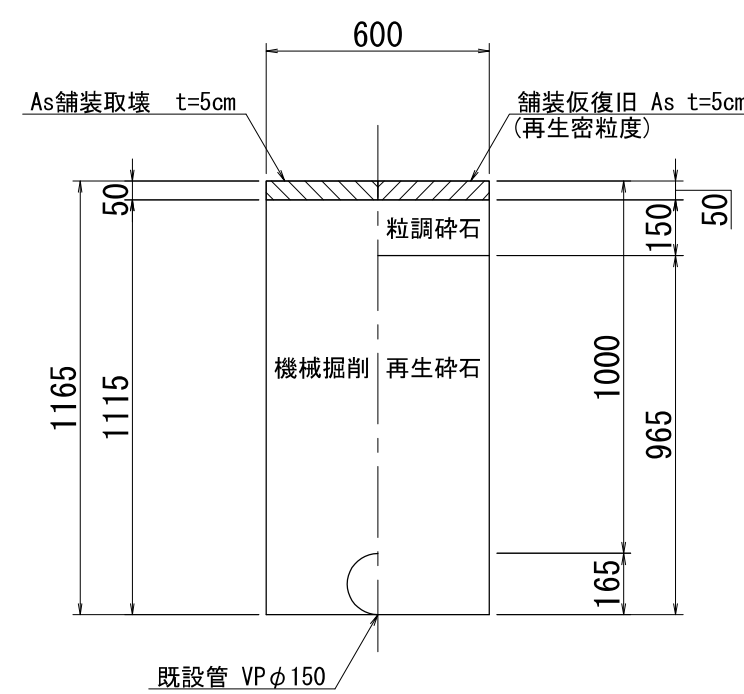
掘 削 埋 戾



掘 削 埋 戾



掘 削 埋 戻



掘削深 (m)	土留工 (矢板長) (m)	段数
～1.49	素掘	—
1.50～1.79	2.00	1
1.80～1.99	2.50	1
2.00～2.29		2
2.30～2.79	3.00	2
2.80～3.29	3.50	2

粒調碎石：M-30
再生碎石：RC-4

令和7年度 上水道事業	
上久米淵測線老朽配水管布設替工事	
加東市 上久米 地内 ほか	
掘削断面図	6 葉
縮尺 1/20・Non	6 全
加 東 市	

仕 様 書

第 1 章 総 則

第 1 条（ 目 的 ）

この仕様書は、加東市が行う配管工事の施工の適正を期するため、監督員及び受注者が遵守しなければならない工事の仕様を示すことを目的とする。

第 2 条（ 適 用 ）

この仕様書は、令和7年度 上水道事業 上久米廻渕線老朽配水管布設替工事の施工に適用する。

第 3 条（用語の定義）

次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

1. 監督員 市長に代わって工事の施工を指示監督する職員のこと。
2. 指 示 監督員が受注者に工事の施工に関する方針、基準、計画等を示し実施させること。
3. 承 認 受注者が監督員に報告し、監督員が了解すること。
4. 協 議 監督員と受注者が協議すること。
5. 立会い 受注者が監督員に申し出て、監督員が現場に臨むこと。

第 4 条（施工計画）

受注者は契約締結後、次の各号の手続を行うこと。

1. 工事着手は契約締結日の翌日とし、工事施工計画及び下請人等通知書、主任技術者等経歴書、請負代金内訳書、工程表を監督員に提出すること。なお、現場代理人と主任技術者は兼ねることができる。
2. 受注者は、工事着工前（契約書に定める工事着手日以降30日以内）に施工計画書を監督員に提出すること。
3. 工程表その他を変更するときは、その都度監督員に届け出て、監督員の指示に従うこと。

第 5 条（受注者の負担）

受注者は、次の各号に要する軽微な費用について負担しなければならない。

1. 軽易な事項で設計図書又は本仕様書に明記していないことでも、施工上あるいは、使用上欠くことのできない材料及び作業の費用。
2. 施工上障害となる地下、地上の物件の取り除き、原形復旧又は保護設備の設置、工事により生じた不用物品の跡片付けに要する費用。
3. 各種試験検査及び工事写真、完成図面の作成等に要する費用。
4. 設計図に明示されなくとも必要な仮橋、仮道、仮水路、交通標識及び防災保安上必要な仮設備の設置並びに原形復旧に要する費用。
5. 道路で施工中の交通整理費及び道路維持に要する費用。
6. 工事用電力及び水道設備の設置費、撤去費並びに使用料金。
7. その他、受注者の責めに帰する事項に要する費用。

第 6 条（使用材料）

1. 使用材料は、加東市の支給する材料を除き受注者が調達すること。なお、支給材料は所定の場所に運搬、保管し、残品は監督員の指示する場所に返納すること。

2. 受注者は、支給材料及び貸与品を慎重に取り扱い、破損や紛失したときは、監督員の指示に従い補修または賠償しなければならない。ただし、賠償の場合は現物弁償を原則とする。
3. 受注者が調達する配管材で上水道規格品については、日本水道協会検査員の検収済材料を使用すること。特殊製品については、性能立会検査を行い合格したものを使用する。また、管材料を工事に使用するときは、その都度、種類、員数、規格、品質等について、日本水道協会発行の検査済証を提出し、監督員の承認を受けること。
4. 使用材料の適用規格は次の規格とする。

J I S	J W W A	J E M	J E C	J C S
電気用品安全法	その他関係諸規格			

第 7 条 (工事現場管理)

1. 受注者は、現場代理人を工事現場に常駐させ、工事に関する一切の事項（労働関係法規、道路交通関係法規、公害防止関係法規、危険物取扱関係法規、電気設備技術基準、内線工事基準、土木工事安全施工技術指針（建設省大臣官房技術参事官、昭和43年6月）、消防法、その他工事施工上必要な法規）を遵守し、工事の円滑な進捗を図るとともに、諸法規の運用は、受注者の負担と責任において行われなければならない。
2. 受注者は、一般通行人が見やすい場所に工事名、工期、事業主体名、受注者の住所氏名並びに現場代理人の氏名を記入した大型の標示板を設置すること。特に道路に関する工事を行うときは、道路管理者、監督員及び所轄警察署と協議し、道路標識令、道路工事現場における標示施設等の設置基準（建設省道路局長通知 昭和37年8月30日）及びその他の基準に基づき、柵、道路標識、危険標識、夜間赤色注意灯等を設置し、安全交通に必要な万全の処置を講じなければならない。
3. 受注者は監督員の指示により、作業方法、材料機器の搬入、盗難、火災予防の警備方法等について概略説明書を提出し、承認を得ること。
4. 受注者は監督員の指示により、工事施工によって生じた現場発生品を集積し、搬出し、場内を清潔にするとともに、適切な防火、防災対策を講じなければならない。
5. 受注者は、工事中又は引渡し完了までの仮設備、材料並びに機器の盗難、火災、破損等の被害に備え十分に警備をすること。
6. 受注者は、工事現場が隣接し又は同一場所において別途工事がある場合は、常に相互協調して紛争を起こさないよう処置しなければならない。
7. 受注者は、工事施工中、監督員の許可なく流水及び水陸交通の妨害となる行為又は公衆に迷惑を及ぼす施工等をしてはならない。
8. 受注者は、市街地における工事は、市街地土木工事公衆災害防止対策要綱（建設省事務次官通達 昭和39年10月1日付）に準拠して災害の防止に努めなければならない。
9. 豪雨、出水、その他天災に対しては、平素から気象予報などについて十分な注意を払い、常にこれに対処できる準備をしておかななければならない。
10. 火薬、ガソリン、電気等の危険物を使用する場合には、その保管及び取扱いに

ついて、関係法令の定めるところに従い、万全の方策を講じなければならない。
なお、火薬類を使用し工事を施工するときは、あらかじめ監督員の承認を得ること。

- 1 1. 工事施工について住民の生活、営業に支障を及ぼすおそれがあるときは、近隣住民と協議の上、支障のないように工法及び使用機器を検討し、監督員の承認を得て施工すること。
- 1 2. 受注者は、工事の施工に影響を及ぼす事故、人命に損傷を生じた事故、又は第三者に損害を与えた事故が発生したときは、遅滞なくその状況を監督員に報告しなければならない。なお、危険防止の設備を怠って生じた事故に対しては、受注者の責任で処置すること。
- 1 3. 受注者は、工事用運搬路として道路を使用するときは、常に良好な状態に保持するよう努めなければならない。
- 1 4. 受注者は工事施工に際し、現場代理人に身分を明示した腕章を着用させること。

第 8 条（既設物の保護）

1. 工事の施工に支障を及ぼす地上、地下の既設物等は、監督員の承認を得て丁寧に取り除き、又は保護を施し、工事の進捗にともない速やかに原形復旧すること。
2. 詳細が不明な既設埋設管（ガス管、水道管、下水道管、電気ケーブル、電話ケーブル等）に対しては試験掘を行い、埋設管の位置及び深さを確認の上、必要に応じて保護工等を施すこと。なお、試験掘に先立ち関係機関等に立会いを求め、立会者から指示があった場合はこれに従うこと。また、ガス管付近の掘削を行う場合は、ガス漏等の有無を確認すること。

第 9 条（官公庁及び関係機関への手続）

1. 受注者は、工事施工のため必要な官公庁及び関係機関に対する諸手続（交通制限許可申請書、道路使用許可申請書、仮設物設置許可申請書、移転、移設物申請書並びに各種使用届等必要な書類一式の作成）を行って許可を得るものとし、書類の様式については監督員の指示を受けること。
2. 道路管理者に提出する着工届、完工届は監督員の指示により受注者が作成し、道路等掘削埋戻土の使用、転圧、工事中の状況、舗装復旧及び工事完成の状況がわかる写真を添付すること。
3. 受注者は、関係官公庁その他に対して交渉を要するとき又は交渉を受けたときは、遅滞なくその旨を監督員に申し出て協議すること。

第 10 条（作業時間）

1. 工事の作業時間は、各種規定、許可及び監督員の指示による。ただし、緊急を要する場合は、監督員と協議の上、承認を得て延長すること。
2. 工事施工中、監督員から作業時間の延長又は夜間作業を指示された場合、受注者はこれに応じなければならない。

第 11 条（工事の変更及び中止）

1. 監督員が必要と認める場合は、工事の内容を変更し、若しくは一時中止を指示する。
2. 受注者は、工事に支障を及ぼす天候、その他正当な理由により工期内に工事を完成することができないときは、その理由を付して工期の延長を求めることが

できる。

第12条（施工管理）

1. 受注者は、兵庫県土木工事施工管理基準などを用いて施工管理を行い、その記録を監督員に提出しなければならない。
2. 受注者は工事内容と必要事項を記載した工事日報を提出しなければならない。

第13条（施工検査）

1. 受注者は、監督員が指示した主要な工事及び工事完成検査の困難な工事については、施工順序に従って、段階ごとに検査員の検査を受けて合格した後、次の施工に着手しなければならない。
2. 支持力検査、材料検査等の諸検査は、原則として監督員立会いで受注者が行い、その結果表をすみやかに監督員に提出し、承認を受けなければならない。
3. 検査に合格した材料でも、使用前又は使用中に不良を発見したときは、監督員の指示により処置すること。

第14条（提出書類）

受注者は、次の関係書類を監督員に提出しなければならない。

1. 工事写真

（1）工事写真を整理編集し、監督員が随時点検できるようにするとともに、工事完成の際に提出する。

（2）撮影は次のものと、監督員が特に指示するものとする。

ア 着工前の敷地の状況及び隣接建物の状況。

イ 工事中、工事の進捗状況並びに工場製作のものは製作の進行状況。

ウ 工事完成写真、内外主要箇所。

エ 管類等埋設深度、位置及び埋設状況を示すもの。（約100m間隔に撮影現場を示す対象物を入れたもの。）

2. 工事完成図面

工事完成図面「製本（A1）」を作成し、工事完成届に添えて1部提出する。

また、前記のCADデータ（SXF形式）も併せて提出すること。

第15条（仕様の疑義）

工事施工にあたり図面と現場との状態が一致しないとき又は予期することのできない状態を発見したときは、遅滞なく監督員に知らせ指示を受けること。なお、処理については協議により決定する。

第16条（検査）

1. 工事完成検査は、工事目的物が設計図書に適合しているかを検査員が確認するものとし、これに合格しないときは、遅滞なく補修又は改造をして、再度検査員の検査を受けること。
2. 官公庁及び電力会社等の検査を受ける必要があるときは、受注者がすべての手続を代行するものとし、あらかじめ監督員の承認を受けること。

第17条（特許権等の使用）

受注者は、工事施工にあたり特許権、その他第三者の権利対象となる機器、施工方法等を使用するときは、その使用に関する全ての責任を負うこと。

第18条（契約不適合責任）

工事完成検査後の契約不適合責任は、契約書によるものとし、道路不陸、漏水

(通水後)、その他は1箇年、主要構造物、機器等は2箇年とする。

第19条 (跡片付け)

受注者は、工事が完成したときは、跡埋め、跡片付け及び清掃等を工事期間内に完了しなければならない。

第20条 (その他)

1. 本特記仕様書および土木請負工事必携・土木工事共通仕様書・土木工事施工管理基準に記載のない事項及び疑義が生じた場合は、監督員と協議のうえその指示に従うものとする。
2. 完成図書は、監督員の指定するイージーキャビネットに入れて提出すること。

第2章 管布設工

第1条 (適用)

管布設工は、(公社)日本水道協会発行の水道施設設計指針2012と本仕様書により施工すること。

第2条 (配水管の明示)

1. 配水管の明示は、以下の方法で施工すること。
2. アルミシートを管上30cmに埋設する。
3. ビニールテープ(年号入)を管に一回半巻きする。
4. 巻付け方法
 - (1) 管長4メートル以下 3箇所/本 管の両端から15~20cm及び中間に1箇所。
 - (2) 管長5~6メートル 4箇所/本 管の両端から15~20cm及び中間に2箇所。
 - (3) 特殊管で(1)(2)に該当しない場合はテープの間隔が2メートル以上にならないようにすること。
 - (4) 異形管の場合は受口、挿し口部の端から20cmの所に巻付けること。
5. 弁栓類部分については明示しない。
6. 明示に使用するビニールテープ及びアルミシートについては監督員の承認を受けて使用すること。

第3条 (配管工)

管の接合及びサドル分水栓建込に従事する配管工は、配水用ポリエチレンパイプシステム協会(POLITEC)が主催する施工講習会を受講したものでなければならない。ただし、監督員が特に認めたものについてはこの限りではない。

第4条 (材料検査)

受注者は、調達管材の検査済証(日本水道協会の発行したもの)を材料使用承認願に添付して提出し、監督員の承認を受けること。

第5条 (掘削)

1. 掘削にあたっては、あらかじめ保安設備、土留、排水、覆工、残土処理、その他の必要な準備を整えた上で着手すること。
2. アスファルトコンクリート舗装、コンクリート舗装の切断は、舗装切断機等を使用して切口を直線に施工すること。また、取壊しに当たっては、在来舗装部分が粗雑にならないように行うこと。

3. 舗装切断を施工する場合は、保安設備、保安要員等を適切に配置し、交通上の安全を確保するとともに、冷却水処理にも注意すること。
4. 掘削は、掘削期間を極力短縮するため、その方法、位置を十分検討して行うこと。
5. 同時に掘削する区域及び一開口部の延長をあらかじめ監督員に報告すること。
6. 機械掘削を行う場合は、施工区域全般にわたり地上及び地下の施設に十分注意すること。
7. 床付け及び接合部の掘削は、配管及び接合作業が完全にできるよう所定の形状に仕上げること。なお、えぐり掘り等はしないこと。
8. 床付面に岩石、コンクリート塊等の支障物が出た場合は、床付面より 10 cm 以上取り除き、砂等に置き換えること。
9. 湧水のある箇所掘削については、土留、排水等を適切に行うこと。

第 6 条 (埋戻・復旧)

1. 管の埋戻しは、厚さ 20 cm 毎に締固機で十分締め固め、復旧するとともに、軟弱地盤又は湧水地帯にあっては、湧水及び溜水を排除しながら埋め戻しを行うこと。
2. 工事のための交通制限に起因して掘削箇所以外の道路が損傷した場合は、監督員の指示により直ちに復旧すること。

第 7 条 (弁栓鉄蓋等の据付)

仕切弁の鉄蓋は、管方向又は流末方向に文字を直角に据え付けること。

第 3 章 管の接合

第 1 条 (水道配水用ポリエチレン管)

1. EF 継手による接合

- (1) 管端部外面に付着している土や汚れを取り除いた後、継手挿入代を記入する。
- (2) 継手との管融着面の挿入範囲をマーキングし、この部分を専用工具（スクレーパ）で切削する。
- (3) 継手内面と管外面をエタノール又はアセトンを浸み込ませた専用ペーパータオルで清掃する。
- (4) 管に挿入標線を記入後、継手をセットし、クランプを使って、管と継手を固定する。
- (5) コントローラのコネクタを継手に接続のうえ、継手バーコードを読み取り、通電を開始する。
- (6) 融着終了後、所定の時間冷却確認後、クランプを取外す。

2. 作業場の注意事項

- (1) 切削には専用工具（スクレーパ）を使用し、削り残しが無いようにする。
- (2) 融着面の清掃は、指定のペーパータオルを用いてきれいな素手で行い、清掃後はその面に手を触れない。
- (3) 挿入不足は融着不良となるため、標線まで挿入されていることを確認する。
- (4) 冷却中はクランプで固定したままにし、接合部に外力を加えない。
- (5) 融着作業中の EF 接続部に水が付着しないように、ポンプによる十分な排水、雨天時はテントによる雨よけ等の対策を講じる。

第 2 条 (サドル分水栓)

1. サドル分水栓建込は水圧試験合格後に行うこと。
2. サドル分水栓に接合する給水管は、既設給水管 (P E 管) と内外径 (J I S 規格) が同じものを使用すること。

第 4 章 特記事項

第 1 条 (総 則)

本工事の施工に当たっては、設計図書によるほか、「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」、「土木請負工事必携」、「小型構造物標準図集」(全て兵庫県土木部)、本仕様書によらなければならない。

第 2 条 (工事概要)

本工事は、加東市上久米地区の老朽化した管路を更新することを目的とする。

第 3 条 (工事範囲)

本工事は、配水管の布設、給水管の切替え、仕切弁の設置を行うものである。

第 4 条 (管布設工事)

本工事場所において、地下埋設物が隣接している箇所では十分な事前調査(試掘調査など)を行い、工事に着手すること。

第 5 条 (建設副産物の搬出)

本工事から発生する特定建設廃棄物のうち、A s 殻は大林道路(株)東条アスファルト(加東市天神1228-39)、廃プラスチック(塩化ビニル製建設資材)は(有)エコリサイクル(西脇市高松町633-81)への搬出を見込んでいる。ただし、上記施設に関する所在地は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。また、運搬に先立ち受入条件などを確認し、監督員に報告すること。

第 6 条 (建設発生土の搬出)

本工事の建設発生土(土砂)は、法光寺農事組合法人(三木市吉川町法光寺230)への搬出を見込んでいる。ただし、上記施設に関する所在地は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。また、運搬に先立ち受入条件などを確認し、監督員に報告すること。なお、加東市が行う他工事に流用するため、監督員から搬出先の指示があった場合はこれに従うものとし、設計変更の対象とする。

第 7 条 (交通誘導員の配置)

本工事の施工に際しては、交通誘導員Bを86人計上しており、配置場所等については監督員と協議するものとする。なお、作業中は通行止め及び片側交互通行を予定している。

交通誘導員A: 警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。)で、交通誘導員警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導員B: 警備業者の警備員で、交通誘導員A以外の交通の誘導に従事するもの。

第 8 条 (その他)

1. 設計図書に記載なきもの及び不明確な事項については、監督員と協議を行い、

指示により施工すること。

2. 工事用標示板について

工事看板は下図を標準とするが、図案が完成した際、事前に監督員に確認を取り了承を得てから作成し、設置すること。

○ ○ 工 事 中	
○○○○○工事	
区間	加東市 ○○ 地内
期間	令和○年○月○日~○年○
施工	△△△△株式会社 TEL ○○○○-○○-○○○○
	
発注者	加東市上下水道部工務課 TEL 0795-43-0534

※旧タイプの工事看板は使用しないこと。